

利用者情報登録業務

輸出入・港湾関連情報処理システム（以下、システムという。）を使用して利用者自らがシステムへの設定を行う業務（以下、設定業務という。）の処理手順を説明したものです。

（注）設定業務に係る業務仕様については、NACCS 掲示板「業務仕様書」の「輸出入共通業務」に掲載しています。

設定業務とは、関税法等の規程に基づく税関及び関係省庁への申告もしくは申請または許可・承認等の対象となる税関及び関係省庁手続業務とは異なりますが、NACCS というシステムの利用に先立ち、NACCS 業務を処理した結果の出力情報をどの端末、メールボックスに出力するか、管理資料の出力可否を登録、変更する等のユーティリティな業務です。

なお、利用申込み後、NACCS センターが最低限必要な設定を致しますので、受領した利用者 ID、パスワード等を利用し、必要に応じ設定変更を行ってください。

最低限の設定については、後述のそれぞれの業務の説明事項中「留意事項」に記載しておりますのでご確認ください。

設定業務の業務フローイメージは図 1 を参照お願いします。

【留意事項】

利用者情報登録業務は、オンライン業務を利用してシステム設定の登録・変更・削除を行うものですので、以下の事項に注意してください。

1. 当該オンライン業務は、各社・事業所におけるシステム管理者、業務責任者（以下「システム管理者等」という。）又はシステム管理者等の指示に基づき業務を実施してください。
2. システム管理者と連携を取って頂き、適正に業務を実施してください。
3. 本業務は、登録・変更又は削除を行った瞬間に、システム設定情報が変更になりますので、入力後、送信ボタンを押下（クリック）する前に、入力内容の再確認を行ってください。

図1 システム設定情報の業務フローイメージ

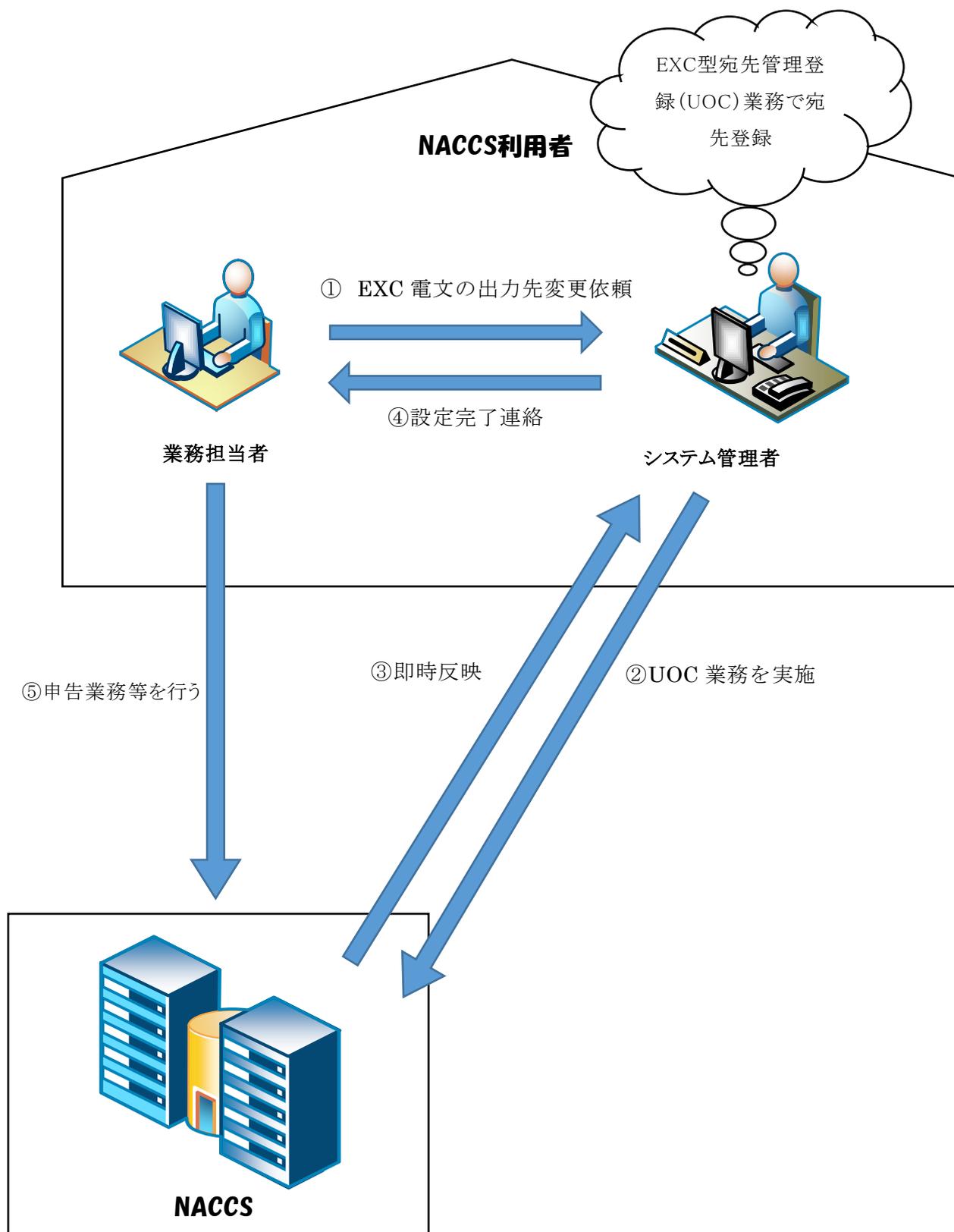


表1 利用者情報登録業務一覧

※備考欄に特に記載が無い限り、海上/航空共通で利用できる。

項目番号	業務名	業務コード	業務概要	備考
1	利用者情報登録	URY	利用者パスワードの変更を行う。 また、データ送受信処理方式がメール処理方式であり、かつメールボックスとのシングルサインオン利用者の場合は、同時にメールボックスパスワードを変更した利用者パスワードと同一の値に変更する。	
2-1	通関士証票番号登録	UTB	NACCSを利用する利用者が通関士の場合は、本業務にて通関士証票番号を登録する。	
2-2	通関士証票番号照会	UTB01	通関士ID及び証票番号について、システムに登録されている情報を呼び出す。	
3-1	会話型宛先管理登録	UOK	データ送受信処理方式が会話型で、出力パターンがINQ型/EXZ型の宛先を登録する。	
3-2	会話型宛先管理照会	UOK01	「会話型宛先管理登録」によりシステムに登録した情報を一覧照会する。	
3-3	会話型宛先管理登録呼出し (照会業務として利用)	UOK11	「会話型宛先管理登録」によりシステムに登録した情報を出力情報コード単位に呼び出す。	
4-1	メール型宛先管理登録	UOM	データ送受信処理方式がメール型で、出力パターンがINQ/EXZ型の宛先を登録する。	利用申込後NACCSセンターが必要最低限の設定を行います。
4-2	メール型宛先管理照会	UOM01	「メール型宛先管理登録」業務によりシステムに登録した情報を一覧表示する。	
4-3	メール型宛先管理登録呼出し	UOM11	「メール型宛先管理登録」業務によりシステムに登録した情報を出力情報コード単位に呼び出す。	
5-1	EXC型宛先管理登録	UOC	データ送受信処理方式に関わらず、出力パターンがEXC型の宛先を登録する。	利用申込後NACCSセンターが必要最低限の設定を行います。
5-2	EXC型宛先管理照会	UOC01	「EXC型宛先管理登録」業務によりシステムに登録した情報を一覧表示する。	

項目番号	業務名	業務コード	業務概要	備考
5-3	EXC型宛先管理登録呼出し	UOC11	「EXC型宛先管理登録」業務によりシステムに登録した情報を出力情報コード単位に呼び出す。	
6-1	同報電文出力先登録	UOD	システムからの緊急の通知を出力する宛先を登録する。	利用申込後NACCSセンターが必要最低限の設定を行います。
6-2	同報電文出力先呼出し	UOD11	「同報電文出力先登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	
7-1	照会資格者登録	USS	入力者以外に照会が可能な利用者を登録する。※同一企業単位	
7-2	照会資格者登録呼出し	USS11	「照会資格者登録」により、システムに登録した情報を呼び出す。	
7-3	照会資格者登録(強制入力)	USS12	入力者以外に照会が可能な利用者を登録する。※他企業の利用者コードを登録可能。	
8	管理資料情報配信要否登録呼出し (管理資料情報配信要否登録)	UKS11 (UKS)	管理資料情報の配信要否について、システムに登録されている情報を呼び出す。 なお、配信要否の登録または変更を行う場合は、呼び出した設定状況を確認したうえで、必要な管理資料を登録する。	
9	口座複数利用可能者登録呼出し (照会業務として利用)	UKZ11	「口座複数利用可能者登録」によりシステム登録した情報を呼び出す。	
10	輸出入許可通知情報等二重出力用基本情報登録呼出し (照会業務として利用)	UOJ11	「輸出入許可通知情報等二重出力用基本情報についてシステムに登録されている情報を呼び出す。	
11-1	輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理照会	UON01	「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録」によりシステムに登録した情報を一覧照会する。	
11-2	輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録呼出し (照会業務として利用)	UON11	「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理」によりシステムの登録した情報を出力情報コード単位に呼び出す。	

項目番号	業務名	業務コード	業務概要	備考
12-1	許可後訂正可能者登録	UKT	入力者以外に許可後の訂正が可能な利用者を登録する。※同一企業単位	
12-2	許可後訂正可能者登録呼出し (照会業務として利用)	UKT11	「許可後訂正可能者登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	
12-3	許可後訂正可能者登録(強制入力)	UKT12	入力者以外に許可後の訂正が可能な利用者を登録する。※他企業の利用者コードを登録可能。	
13	納付書等出力先登録呼出し (照会業務として利用)	UNF11	「納付書等出力先登録」によりシステムに登録した情報を呼び出す。	
14	保税地域関連情報登録呼出し (保税地域関連情報登録)	UBA11 (UBA)	保税地域に関する各種帳票や電文の出力可否等について、システムに登録されている情報を呼び出す。 なお、出力可否の登録または変更を行う場合は、呼び出した設定状況を確認したうえで、必要な帳票等を登録する。	航空のみ
15-1	保税蔵置場別クレジット扱業者登録	UBC	保税蔵置場別にクレジット扱業者を登録する。	航空のみ
15-2	保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し	UBC11	「保税蔵置場別クレジット扱業者登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	航空のみ
16-1	機用品受託航空会社登録	UCJ	機用品に係る受託航空会社を登録する。	航空のみ
16-2	機用品受託航空会社登録呼出し	UCJ11	「機用品受託航空会社登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	航空のみ
17	蔵置場所別在庫データ出力可否設定 (蔵置場所別在庫データ出力可否設定呼出し)	UIA11 (UIA)	管理資料「蔵置場所別在庫データ」の出力可否について、システムに登録されている情報を呼び出す。 なお、出力可否の登録または変更を行う場合は、呼び出した設定状況を確認したうえで、必要な出力情報等を登録する。	航空のみ

項目番号	業務名	業務コード	業務概要	備考
18	リアルタイム口座 帳票要否呼出し (リアルタイム口座 帳票要否登録)	URK11 (URK)	オンライン・リアルタイム口座を用いた 関税等の振替完了通知情報の出力 要否設定状況呼び出す。 なお、配信要否の登録又は変更を行 う場合は、呼び出した設定状況を確認 したうえで、関税等の振替完了通知情 報の出力要否を登録する。	
19-1	港別船会社登録	UMF	入力者に複数の船会社を関連付ける 場合や、港別に出力情報の出力先船 会社を指定したい場合にその船会社 を登録する。	海上のみ
19-2	港別船会社登録 呼出し	UMF11	「港別船会社登録」業務によりシステム に登録した情報を呼び出す。	海上のみ
20-1	搬出入業務代行 者登録	UHN	入力者に代行して搬出入業務を実施 可能な利用者を登録する。	海上のみ
20-2	搬出入業務代行 者登録呼出し	UHN11	「搬出入業務代行登録」業務により システムに登録した情報を呼び出す。	海上のみ
21-1	船会社別ブッキ ング情報先行登 録積出港登録	UFB	「ブッキング情報登録(BKR)」業務の 先行登録を必須としたい船会社コード を登録する。	海上のみ
21-2	船会社別ブッキ ング情報先行登 録積出港登録呼 出し	UFB11	「船会社別ブッキング情報先行登録積 出港登録」業務によりシステムに登録 した情報を呼び出す。	海上のみ
22-1	申告可能者登録	UKY	申告可能者の利用者コードを登録す る。※同一企業単位	
22-2	申告可能者登録 呼び出し	UKY11	「申告可能者登録」業務によりシステム に登録した情報を呼び出す。	
22-3	申告可能者登録 (強制入力)	UKY12	申告可能者の利用者コードを登録す る。※他企業の利用者コードを登録可 能。	

項目番号	業務名	業務コード	業務概要	備考
23-1	積荷目録情報登録省略機能不要設定登録	UAF	船会社コード等の単位に、「積荷目録提出(DMF)」業務における出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録機能の不要設定の登録および削除を行う。	海上のみ
23-2	積荷目録情報登録省略機能不要設定情報照会	UAF01	「積荷目録情報登録省略機能不要設定登録」業務によりシステムに登録した情報を照会する。	海上のみ
24-1	輸入CFS引取予定情報受付時間登録	UCT	「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務に先立ち、搬出依頼受付終了時刻等を登録する。	海上のみ
24-2	輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し	UCT11	「輸入CFS引取予定情報受付時間登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。 なお、登録内容を確認したい場合、本業務を利用して登録内容の照会を行う	海上のみ
25-1	一括納付書等(包括延長)集約先登録	UIK	包括納期限延長に係る一括納付書の集約先を登録する。	
25-2	一括納付書等(包括延長)集約先登録呼出し	UIK11	「一括納付書等(包括延長)集約先登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	
26-1	一括納付書等(特例即納)配信日登録	UTK	一括納付書等(特例即納)の配信日を登録する。	
26-2	一括納付書等(特例即納)配信日登録呼出し	UTK11	「一括納付書等(特例即納)配信日登録」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。	

設定業務

1. 利用者情報登録（URY）業務

NACCS利用者自身の利用者ID及び同一利用者コード内利用者IDのパスワードの変更を行います。また、データ送受信処理方式がメール処理方式であり、かつメールボックスとのシングルサインオン利用者である場合は、同時にメールボックスパスワードを変更した利用者パスワードと同一の値に変更します。

変更は、「利用者情報登録（URY）」業務を利用し、次に掲げる事項を入力して送信することにより行います。

（1）変更方法

[1] 処理区分コード（「処理区分」欄）

自身の利用者IDのパスワード変更を行う場合は「C」、同一利用者コード内の他の利用者IDを初期化する場合は「I」もしくは「X」を入力します。

※他の利用者IDを「C：変更」することはできません。

[2] 利用者ID（「利用者ID」欄）

現在ログイン中の利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））もしくは初期化を実施したい利用者IDを入力します。

[3] 利用者パスワード（「利用者パスワード」欄）

自身の利用者IDのパスワードを変更する場合は、6桁以上8桁以内の半角英数字（AからZ及び0から9を1種類以上使用する）を入力します。

なお、他利用者IDの初期化の場合は入力不要です。

[4] 利用者パスワード（確認）（「利用者パスワード（確認）」欄）

自身の利用者IDのパスワードを変更する場合は、確認のため、上記[3]で入力した利用者パスワードを再度入力します。

なお、他利用者IDの初期化の場合は入力不要です。

《入力画面》

処理区分*	<input type="text" value="C"/> (C：変更 I：初期化 X：初期化取消)
利用者ID*	<input type="text"/>
利用者パスワード	<input type="text"/>
利用者パスワード（確認）	<input type="text"/>

(2) 留意事項

同一利用者コード内の他の利用者IDを初期化した場合、初期化後のパスワードはURY業務を実施した利用者利用者パスワード初期化情報（出力情報コードCAL1210）が配信されますので、初期化後パスワードについて実利用者への連絡をお願いします。

また、同一利用者コード内の他の利用者IDがない場合で、パスワードを失念した場合は、NACCSサポートシステム（以下、「NSS」）を利用してシステム設定のパスワード初期化メニューから申込を行ってください。

2-1. 通関士証票番号登録（UTB）業務

システム管理者等が、通関士に係る通関士証票番号の登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「通関士証票番号登録（UTB）」業務を利用し、それぞれ次に掲げる事項を入力して送信することにより行います。

システム管理者等以外の者が通関士証票番号の登録等を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、業務を実施してください。

（1）登録方法

[1] 利用者ID（「利用者ID」欄）

現在ログイン中の利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））もしくは証票登録を実施したい利用者IDを入力します。

[2] 通関士証票番号（「通関士証票番号」欄）

上記[1]で入力した利用者IDに係る通関士証票番号（税関より払いだされた通関士証票番号）を入力します。

（2）変更方法

[1] 利用者ID（「利用者ID」欄）

現在ログイン中の利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））もしくは証票変更登録を実施したい利用者IDを入力します。

[2] 通関士証票番号（「通関士証票番号」欄）

上記[1]で入力した利用者IDに係る変更後の通関士証票番号（税関より払いだされた通関士証票番号）を入力します。

（3）削除方法

[1] 利用者ID（「利用者ID」欄）

現在ログイン中の利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））もしくは証票削除を実施したい利用者IDを入力します。

[2] 通関士証票番号（「通関士証票番号」欄）

スペース（空欄）とします。

《入力画面》



利用者ID*

通関士証票番号

2-2. 通関士証票番号照会 (UTB01)

システム管理者等は、利用者コード（5桁）単位に、現在利用可能となっている通関士ID及び証票番号を照会することができます。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能な他、照会画面から通関士証票番号登録（UTB）業務へ画面を遷移し、登録、変更及び削除を行うことが可能です。

照会は「通関士証票番号照会(UTB01)」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

(1) 照会方法

利用者コード（「利用者コード」欄）

現在ログオンしている利用者コード（5桁）を入力します。

《入力例》



The image shows a rectangular input field with a light beige background. Inside the field, the text '利用者コード*' is followed by a small blue-bordered box containing the alphanumeric code '1HTUK'.

本照会により、「通関士証票番号照会情報（出力情報コード：CAL0960）」が配信されます。

入力者情報
 利用者コード*
 利用者ID
 証券番号

1 / 5

1 ID <input type="text" value="1HTUK100"/> 証券番号 <input type="text" value="11111"/>	2 ID <input type="text" value="1HTUK101"/> 証券番号 <input type="text" value="22222"/>	3 ID <input type="text" value="1HTUK10A"/> 証券番号 <input type="text" value="12345"/>	4 ID <input type="text" value="1HTUK901"/> 証券番号 <input type="text" value="44444"/>	5 ID <input type="text" value="1HTUKP16"/> 証券番号 <input type="text" value="55555"/>
6 ID <input type="text" value="1HTUKP99"/> 証券番号 <input type="text" value="66666"/>	7 ID <input type="text" value="1HTUKPA9"/> 証券番号 <input type="text" value="77777"/>	8 ID <input type="text" value="1HTUKY26"/> 証券番号 <input type="text" value="88888"/>	9 ID <input type="text" value="1HTUKY99"/> 証券番号 <input type="text" value="99999"/>	10 ID <input type="text" value="1HTUKYZ1"/> 証券番号 <input type="text"/>
11 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	12 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	13 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	14 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	15 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>
16 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	17 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	18 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	19 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	
21 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	22 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	23 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	24 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	
26 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	27 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	28 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	29 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	30 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>
31 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	32 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	33 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	34 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	35 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>
36 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	37 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	38 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	39 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>	40 ID <input type="text"/> 証券番号 <input type="text"/>

証券番号がblankであっても、有効な利用者IDであれば表示されます。

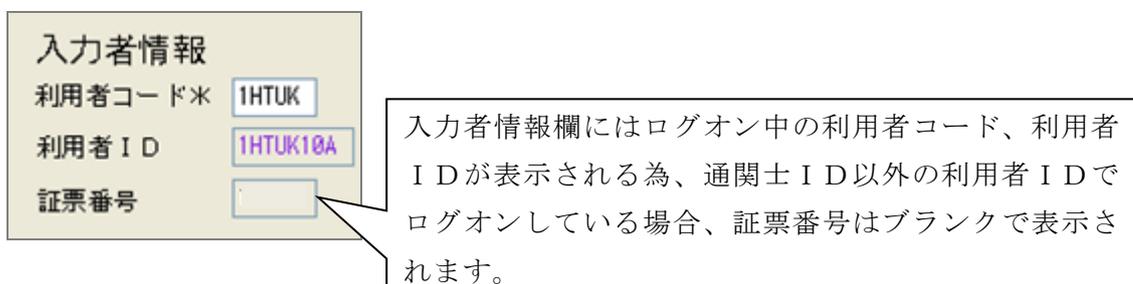
(2) UTB業務への遷移方法（業務リンク機能）

照会により配信された「通関士証券番号照会情報」画面の紫字になっている利用者ID上で、マウスを右クリックし業務リンク（L）にカーソルを合わせ、UTB（通関士証券番号登録）を選択すると、UTBの画面へ遷移されます。



(3) 留意事項

- [1] ログオンしている利用者ID以外の通関士IDの証券番号を変更する場合は、UTB01業務からUTB業務へ遷移しないため、UTB業務から登録を行ってください。



- [2] 業務リンクから遷移されたUTB画面にはログオン中の利用者IDが表示されません。

The image shows a login form with two input fields. The first field is labeled '利用者ID*' and contains the text '1HTUK10A'. A callout box points to this field with the text 'ログオン中の利用者ID'. The second field is labeled '通関士証票番号' and is currently blank. A callout box points to this field with the text '通関士証票番号欄は空白となっているので、新たに変更したい証票番号を入力します。(詳細はUTB業務をご参照ください)'.

利用者ID*	1HTUK10A
通関士証票番号	

通関士証票番号欄は空白となっているので、新たに変更したい証票番号を入力します。(詳細はUTB業務をご参照ください)

3-1. 会話型宛先管理登録（UOK）業務

データ送受信処理方式が会話型であり、システム管理者等は、出力パターンがINQ型／EXZ型の宛先について、入力端末とは別の端末に出力する為に出力先の端末を出力情報コード単位に登録、変更または削除（以下「登録等」という。）する場合、本業務を実施します。

登録等は、「会話型宛先管理登録（UOK）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力または選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

[1] 入力端末名（「入力端末名」欄）

入力端末名（6桁）を入力します。

[2] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記[1]で入力した入力端末から出力端末に送信する出力情報コードを入力します。

－入力例－

処理結果通知電文以外の入力例：AAD2AG（6桁）

全ての出力情報コードの入力例：999999（6桁）

－「変更する内容」の枠内－

[3] 出力端末名（更新後）（「出力端末名」欄）

出力端末名を入力します。

[4] 出力先利用者コード（変更後）（「出力先利用者コード」欄）

出力端末名にSMTP双方向向け出力端末名を指定している場合は、入力してください。

[5] 出力先システム形態（変更後）（「出力先システム形態」欄）

出力端末名にSMTP双方向及びe b M S向け出力端末名を指定している場合は、以下のいずれかの形態を入力または選択します。

形態	内容
Y	SMTP双方向
V	e b M S

[6] 削除要否（「削除要否」欄）

スペース（空欄）を選択します。

(2) 変更方法

「会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、上記(1)登録方法に準じて変更後の内容を入力します。

(3) 削除方法

「会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、削除要否を入力します。

[6] 削除要否（「削除要否」欄）

「D」を入力または選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「会話型宛先管理情報（出力情報コード：CAL0300）」が配信されます。

(5) 留意事項

- ①出力先端末は利用者の所有する端末以外には設定できません。
- ②ログインする利用者ID（8桁）の利用者コード（5桁）に紐づいている論理端末名のみ出力先論理端末名として設定が可能です。

《入力例》

※会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）業務を行った後、本業務を行う入力例（宛先の出力端末名を「1S008W」から「22222W」に変更する例）

入力端末名＊ 45678W

出力情報コード＊ AAS015

変更前の設定状況

出力端末名 1S008W

出力先利用者コード

出力先システム形態

変更する内容

出力端末名 22222W

出力先利用者コード

出力先システム形態

削除要否

UOK11業務によって呼び出された現在の設定状況が出力されます。

現在の「1S008W」から変更する為、「22222W」を入力します。

SMTTP双方向向けの出力端末名の場合は入力してください。

SMTTP双方向及びebMS向けの出力端末名を指定していない場合は入力不要です。

「削除」の場合以外はスペース（空欄）にしておきます。

3-2. 会話型宛先管理照会 (UOK01) 業務

データ送受信処理方式が会話型であり、システム管理者等は、出力パターンがINQ型/EXZ型の宛先について、入力端末毎に、出力情報コードと出力端末を一覧照会することができます。

(1) 照会方法

照会は、「会話型宛先管理照会 (UOK01)」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

[1] 入力端末名 (「入力端末名」欄)

照会したい入力端末の論理端末名を入力します。

《入力例》



A screenshot of a terminal window showing a grey background. On the left, the text '入力端末名*' is displayed. To its right, a white rectangular box contains the text 'CNAC1C'.

(2) 出力情報

本照会により、入力者に対し「会話型宛先管理照会情報 (出力情報コード: CAL0310)」が配信されます。

3-3. 会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）業務

データ送受信処理方式が会話型であり、システム管理者等は、出力パターンがINQ型／EXZ型の宛先について、出力先の端末を出力情報コード単位に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用します。

呼び出し（照会）は、「会話型宛先管理登録呼出し（UOK11）」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

[1] 入力端末名（「入力端末名」欄）

呼び出したい論理端末名を入力します。

[2] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記 [1] で入力した端末に係る出力情報コードを入力します。

《入力例》

入力端末名*	<input type="text" value="CNAC1C"/>
出力情報コード*	<input type="text" value="AAD2AG"/>

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、「会話型宛先管理呼出情報（出力情報コード：CAL0320）」が配信されます。

4-1. メール型宛先管理登録 (UOM) 業務

データ送受信処理方式がメール型であり、システム管理者等は、出力パターンが I N Q 型 / E X Z 型の宛先について、出力先のメールボックスまたは出力端末名を出力情報コード単位に登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「メール型宛先管理登録 (UOM)」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力または選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「メール型宛先管理登録呼出し (UOM11)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 入力元メール識別（「入力元メール識別」欄）

以下のいずれかを入力または選択します。

表：メール種別コード表

種別	内容
M	メール
E	E D I F A C T

[2] 利用者 I D（「利用者 I D」欄）

利用者 I D（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））を入力します。

[3] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記 [2] で入力した利用者 I D に係る出力情報コードを入力します。

－入力例－

処理結果通知電文以外の入力例：AAD2AG（6桁）

処理結果通知電文の入力例：*AEDA01（7桁）、*AEDA（5桁）

全ての出力情報コードの入力例：999999（6桁）

※出力先にメールボックス I D を指定している場合

全ての帳票電文の入力例：888888（6桁）

※出力先に出力端末名を指定している場合

－「変更する内容」の枠内－

[4] メールボックス I D ・出力端末名（変更後）

（「メールボックス I D ・出力端末名」欄）

出力先のメールボックス I D または出力端末名を入力します。

[5] 出力先種別（変更後）（「出力先種別」欄）

上記 [4] でメールボックス I D を入力した場合

出力先のメール種別を、上表（メール種別コード表）の区分に従い、いずれかを入力または選択します。

上記 [4] で出力端末名を入力した場合

「I：パッケージソフト（インタラクティブ / n e t N A C C S）」を入力または選択します。

[6] 削除要否（「削除要否」欄）
スペース（空欄）を選択します。

(2) 変更方法

「メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法に準じて**変更後**の内容を入力します。

(3) 削除方法

「メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、削除要否を入力します。

[6] 削除要否欄
「D」を選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、変更前のメールボックスに「メール型宛先管理登録情報（出力情報コード：CAL0330）」が配信されます。

《入力例》 ※メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）業務を行った後、本業務を行う入力例（出力先の宛先のメールボックスID「NAC00101」から「NAC00202」に変更する場合の入力例）

入力元メール種別*

利用者ID*

出力情報コード*

変更前の設定状況

メールボックスID・出力端末名

出力先種別

現在の設定状況が出力されます。

変更する内容

メールボックスID・出力端末名

出力先種別

削除要否

出力先を現在の、「NAC00101」から「NAC00202」へ変更するためメールボックスIDに「NAC00202」と入力します。

(5) 留意事項

- ① 変更する場合は、当該業務を利用して実施してください。
- ② NACCSセンターに利用申込み手続きが完了した後に利用者へ通知するメールアドレスのうち「一番若い番号」のメールアドレスをNACCSセンターが仮にバスケットコードとして登録します。
- ③ メール処理方式を利用の場合、本業務によるバスケットコードの新規登録を行うことはできません。
- ④ バスケットコードのメールアドレスの削除はできませんのでご注意ください。
メール処理方式を利用の場合、本業務によるバスケットコードの新規登録を行うことはできません。

4-2. メール型宛先管理照会（UOM01）業務

データ送受信処理方式がメール型であり、システム管理者等は、出力パターンがINQ型／EXZ型の宛先について、利用者ID毎に、出力情報コードと出力先のメールボックスIDまたは出力端末名を一覧照会することができます。

照会は、「メール型宛先管理照会（UOM01）」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

（1）照会方法

[1] 入力元メール種別（「入力元メール種別」欄）

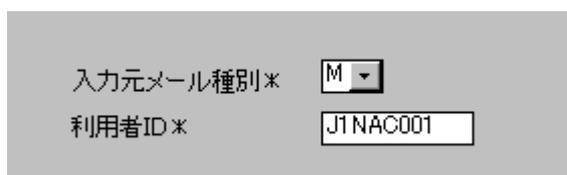
以下のいずれかを入力または選択します。

種別	内容
M	メール
E	EDIFACT

[2] 利用者ID（「利用者ID」欄）

照会したい利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））を入力します。

《入力例》



入力元メール種別*

利用者ID*

（2）出力情報

本照会により、入力者に対し「メール型宛先管理照会情報（出力情報コード：CAL0340）」が配信されます。

4-3. メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）業務

データ送受信処理方式がメール型であり、システム管理者等は、出力パターンがINQ型／EXZ型の宛先について、出力先のメールボックスIDまたは出力端末名を出力情報コード単位に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「メール型宛先管理登録（UOM）」業務により変更または削除をすることができます。

呼び出し（照会）は、「メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

- [1] 入力元メール種別（「入力元メール種別」欄）

以下のいずれかを入力または選択します。

種別	内容
M	メール
E	EDIFACT

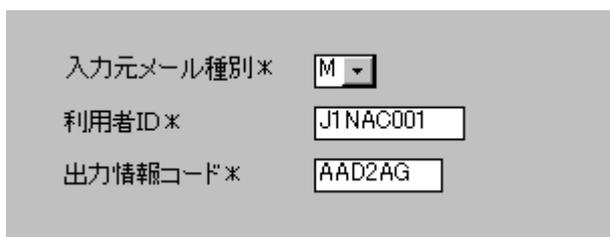
- [2] 利用者ID（「利用者ID」欄）

呼び出したい利用者ID（利用者コード（5桁）＋識別番号（3桁））を入力します。

- [3] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記 [2] で入力した利用者IDに係る出力情報コードを入力します。

《入力例》



入力元メール種別*

利用者ID*

出力情報コード*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「メール型宛先管理呼出情報（出力情報コード：CAL0350）」が配信されます。

5-1. EXC型宛先管理登録（UOC）業務

データ送受信処理方式に関わらず、システム管理者等は、出力パターンがEXC型の宛先を出力情報コード単位に登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「EXC型宛先管理登録（UOC）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力または選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「EXC型宛先管理登録呼出し（UOC11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

利用者コード（5桁）を入力します。

[2] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記 [1] で入力した利用者コードに係る出力情報コードを入力します。

－入力例－

処理結果通知電文以外を入力例：AAD2AG（6桁）

全ての出力情報コードの入力例：999999（6桁）

－「変更する内容」の枠内－

[3] 出力端末名（変更後）（「出力端末名」欄）

下記 [6] で「I：QST型（即時型）」を選択した場合は、出力端末名を入力します。

[4] メールボックスID（変更後）（「メールボックスID」欄）

下記 [6] で「M：メール型」を選択した場合は、メールボックスIDを入力します。

[5] メール種別（変更後）（「メール種別」欄）

上記 [4] でメールボックスIDを入力した場合は、以下のいずれかの種別を入力または選択します。

種別	内 容
M	メール
E	EDIFACT（Seaのみ）

[6] 送信先種別（変更後）（「送信先種別」欄）

以下のいずれかの種別を入力または選択します。

種別	内 容
I	QST型（即時型）
E	QEX型（蓄積型）
M	メール型

[7] 出力先利用者コード（変更後）（「出力先利用者コード」欄）

上記 [6] で「E : Q E X 型（蓄積型）」を選択した場合は、出力先の利用者コードを入力します。

上記 [6] で「I : Q S T 型（即時型）」を選択し、かつ、上記 [3] で入力した端末が、自社システム向けの場合は、出力先の自社システム用利用者コードを入力します。

[8] 出力先システム形態（変更後）（「出力先システム形態」欄）

上記 [6] で「E : Q E X 型（蓄積型）」を選択した場合は、以下のいずれかの形態を入力または選択します。

形態	内 容
Y	S M T P 双方向
V	e b M S
N	パッケージソフト

上記 [6] で「I : Q S T 型（即時型）」を選択し、かつ、上記 [3] で入力した端末が、S M T P 双方向向けの論理端末であれば、以下のいずれかの形態を入力または選択します。

種別	内 容
Y	S M T P 双方向

[9] 削除要否（「削除要否」欄）

スペース（空欄）を選択します。

(2) 変更方法

「E X C 型宛先管理登録呼出し（U O C 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法に準じて**変更後**の内容を入力します。

(3) 削除方法

「E X C 型宛先管理登録呼出し（U O C 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、削除要否を入力します。

[9] 削除要否（「削除要否」欄）

「D」を入力または選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「E X C 型宛先管理情報（出力情報コード：CAL0230）」が配信されます。

(5) 留意事項

- ① 変更する場合には、当該業務を利用して実施してください。
- ② N A C C S センターに利用申込み手続きが完了した後に利用者へ通知する論理端末及びメールボックス I D のうち「一番若い番号」の論理端末及びメールボックス I D を N A C C S センターが仮にバスケットコードとして登録します。
- ③ バスケットコードの出力先端末及びメールボックス I D の削除はできませんのでご注

意ください。

《入力例》 ※EXC型宛先管理登録呼出し（UOC11）業務を行った後、本業務を行う入力例（宛先のメールアドレスIDを「NAC00101」から「NAC00202」に変更する例）

利用者コード* J1NAC
出力情報コード* AAD2AG

変更前の設定状況

出力端末名
メールアドレスID NAC00101
メール種別 M
送信先種別 M
出力先利用者コード
出力先システム形態

現在の設定状況が出力されます。

変更する内容

出力端末名
メールアドレスID NAC00202
メール種別 M
送信先種別 M
出力先利用者コード
出力先システム形態
削除要否

出力先を現在の、「NAC00101」から「NAC00202」へ変更するため
メールアドレスIDに「NAC00202」と入力する。

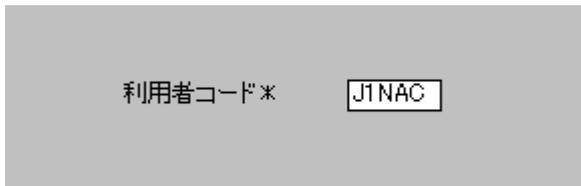
5-2. EXC型宛先管理照会（UOC01）業務

データ送受信処理方式に関わらず、システム管理者等は、出力パターンがEXC型の宛先について、利用者コード（5桁）毎に、出力情報コードと出力先を一覧照会することができます。

（1）照会方法

照会は、「EXC型宛先管理照会（UOC01）」業務を利用し、利用者コード（「利用者コード」欄）に照会したい利用者コード（5桁）を入力し送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a form with a grey background. On the left, the text '利用者コード*' is displayed. To its right is a rectangular input field containing the text 'J1NAC'.

（2）出力情報

本照会により、入力者に対し「EXC型宛先管理照会情報（出力情報コード：CAL0240）」が配信されます。

5-3. EXC型宛先管理登録呼出し（UOC11）業務

データ送受信処理方式に関わらず、システム管理者等は、出力パターンがEXC型の宛先情報を利用者コード（5桁）および出力情報コード毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「EXC型宛先管理登録（UOC）」業務により変更または削除をすることができます。

呼び出し（照会）は、「EXC型宛先管理登録呼出し（UOC11）」業務を利用して、次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

呼び出したい利用者コード（5桁）を入力します。

[2] 出力情報コード（「出力情報コード」欄）

上記 [1] で入力した利用者コードに係る出力情報コードを入力します。

《入力例》

入力者コード*	<input type="text" value="J1NAC"/>
出力情報コード*	<input type="text" value="AAD2AG"/>

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「EXC型宛先管理呼出情報（出力情報コード：CAL0250）」が配信されます。

6-1. 同報電文出力先登録（UOD）業務

NACCSセンターから緊急に周知すべき事項が発生した場合等に、システムを通して利用者の特定の端末宛（メール型の場合は、メールボックス宛）に出力電文として配信を行います。

利用者コード毎にEXC型電文のバスケットコード（出力情報コード：999999）の出力先に同報電文を出力しますが、当該出力先以外に出力先の変更を希望する場合に、システム管理者等は、出力電文の出力先の端末（メール型の場合は、メールボックス）の登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を本業務にて実施します。

登録等は、「同報電文出力先登録（UOD）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「同報電文出力先登録呼出し（UOD11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出してから変更・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

利用者コード（5桁）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

[2] 出力論理端末名1（変更後）（「出力論理端末名1」欄）

EXC型電文のバスケットコードの出力先が既にNACCSセンターにより本項目又は[3]に設定されているため、基本的に変更不要です。

[3] メールボックスID1（変更後）（「メールボックスID1」欄）

EXC型電文のバスケットコードの出力先が既にNACCSセンターにより[2]又は本項目に設定されているため、基本的に変更不要です。

[4] 出力論理端末名2（変更後）（「出力論理端末名2」欄）

会話型の場合、EXC型電文のバスケットコードの出力先以外の論理端末名を入力します。

[5] メールボックスID2（変更後）（「メールボックスID2」欄）

メール型の場合、EXC型電文のバスケットコードの出力先以外のメールボックスIDを入力します。

[6] 削除要否（「削除要否」欄）

スペース（空欄）を選択します。

※削除できるのは「同報電文出力先2」のみです。

（2）変更方法

「同報電文出力先登録呼出し（UOD11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法に準じて**変更後**の内容を入力します。

(3) 削除方法

「同報電文出力先登録呼出し（UOD11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、削除要否を入力します。

[1] 削除要否（「削除要否」欄）

「D」を選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「同報電文出力先情報（出力情報コード：CAL0261）」が配信されます。

(5) 留意事項

- ①同報電文の出力先は、NACCSセンターでEXC型のバスケットコードの出力先と同様の論理端末またはメールアドレスに設定します。
- ②同報電文は、EDIFACTの対象ではないため、EDIFACT利用者のメールアドレスは設定できません。

《入力画面》

利用者コード*

同報電文出力先1

変更前の設定状況

出力論理端末名1

メールアドレスID1

変更する内容

出力論理端末名1

メールアドレスID1

同報電文出力先2

変更前の設定状況

出力論理端末名2

メールアドレスID2

変更する内容

出力論理端末名2

メールアドレスID2

削除要否

現在の設定状況が表示されます。

同報電文出力先1は削除できませんので「削除要否」入力欄はありません。

6-2. 同報電文出力先登録呼出し（UOD11）業務

システム管理者等は、同報電文出力先情報を利用者コード（5桁）毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

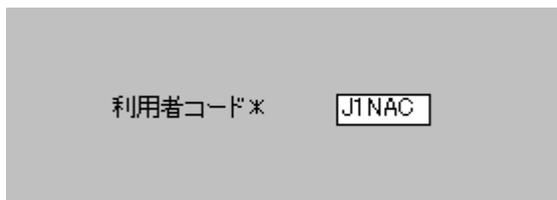
呼び出された情報は、「同報電文出力先登録（UOD）」業務により変更または削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「同報電文出力先登録呼出し（UOD11）」業務を利用し、利用者コード（「利用者コード」欄）に呼び出したい利用者コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a form with a grey background. On the left, the text '利用者コード*' is displayed. To its right is a rectangular input field containing the text 'J1NAC'.

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「同報電文出力先呼出情報（出力情報コード：CAL0271）」が配信されます。

7-1. 照会資格者登録（USS）

システム管理者等は、利用者コード（5桁）毎に入力者が行った各種登録業務の内容を照会可能とする利用者の利用者情報を登録、又は削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「照会資格者登録（USS）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力又は選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「照会資格者登録呼出し（USS11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出してから登録・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

利用者コード（5桁）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

[2] 照会資格者（変更後）（「照会資格者」欄）

照会資格者欄に照会可能としたい利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力又は選択します。

（2）変更方法

「照会資格者登録呼出し（USS11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、上記（1）登録方法及び下記（3）削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（照会資格の権限を取り消す利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに照会資格の権限を持たせる利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

（3）削除方法

「照会資格者登録呼出し（USS11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、以下により削除する内容を入力します。

[2] 照会資格者（変更後）（「照会資格者」欄）

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、照会資格の権限を取り消す利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力又は選択します。

(4) 出力情報

本登録により、入力者に対し「照会資格者情報（出力情報コード：CAL0390）」が配信されます。

(5) 留意事項

照会資格者として登録された利用者が実施可能なオンライン業務は以下のとおりです。

業務コード	業務名	備考
I I D (I I D O W)	輸入申告等照会	
I D I (I D I O W)	輸入申告等一覧照会	
I A D	修正申告照会	
I K K	関税等更正請求照会	
I O T	輸入申告照会（沖縄特免制度）	
I E X (I E X O W)	輸出申告等照会	
I E S (I E S O W)	輸出申告等一覧照会	
I E U	別送品輸出申告照会	
I U E	別送品輸出申告一覧照会	
I A S	担保照会	
I G S (I G S O W)	輸出貨物情報照会	
I M A (I M A O W)	輸出貨物情報照会	
I U S	ULD積付状況照会	
I M F 1 1	輸入便情報照会（AWB）	
I M O	輸出自動車情報照会	
I M S	申告添付一覧照会	

《入力例》 ※照会資格者登録呼出し（USS11）業務を行った後、本業務を行う入力例
（現在設定中の「IDNAC」の照会資格を削除し、新たに「IBNAC」を照会資格者とする場合の例）

現在の設定状況が出力
 されます。

利用者コード*

変更前の設定状況

01	<input type="text" value="1A999"/>	02	<input type="text" value="IDNAC"/>	03	<input type="text" value="IENAC"/>	04	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>
11	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>
16	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>
21	<input type="text"/>	22	<input type="text"/>	23	<input type="text"/>	24	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>
26	<input type="text"/>	27	<input type="text"/>	28	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	30	<input type="text"/>
31	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	34	<input type="text"/>	35	<input type="text"/>
36	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	38	<input type="text"/>	39	<input type="text"/>	40	<input type="text"/>

変更する内容

01	<input type="text" value="IDNAC"/>	<input type="text" value="D"/>	02	<input type="text" value="IBNAC"/>	<input type="text" value="I"/>	03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11	<input type="text"/>	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>	<input type="text"/>
16	<input type="text"/>	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>	<input type="text"/>
21	<input type="text"/>	<input type="text"/>	22	<input type="text"/>	<input type="text"/>	23	<input type="text"/>	<input type="text"/>	24	<input type="text"/>	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>	<input type="text"/>
26	<input type="text"/>	<input type="text"/>	27	<input type="text"/>	<input type="text"/>	28	<input type="text"/>	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	<input type="text"/>	30	<input type="text"/>	<input type="text"/>
31	<input type="text"/>	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	<input type="text"/>	34	<input type="text"/>	<input type="text"/>	35	<input type="text"/>	<input type="text"/>
36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	<input type="text"/>	38	<input type="text"/>	<input type="text"/>	39	<input type="text"/>	<input type="text"/>	40	<input type="text"/>	<input type="text"/>

利用者コード
 入力欄

更新種別欄

7-2. 照会資格者登録呼出し（USS11）業務

システム管理者等は、入力者が行った各種登録業務の内容を照会可能とした利用者の利用者情報を利用者コード（5桁）毎に呼び出します。

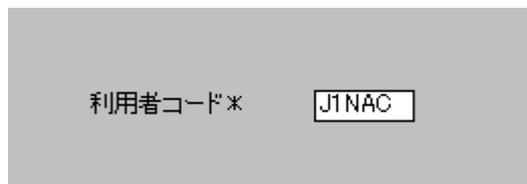
なお、本業務は照会業務として利用します。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「照会資格者登録呼出し（USS11）」業務を利用し、利用者コード（「利用者コード」欄）に呼び出したい利用者コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a form with a grey background. On the left, the text "利用者コード*" is displayed. To its right is a rectangular input field containing the text "JTNA0".

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「照会資格者呼出情報（出力情報コード：CAL0400）」が配信されます。

7-3. 照会資格者登録（強制入力）（USS12）業務

システム管理者等は、利用者コード（5桁）毎に入力者が行った各種登録業務の内容を照会可能とする他企業の利用者情報を登録、又は削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「照会資格者登録（USS）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力又は選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「照会資格者登録呼出し（USS11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出してから登録・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

利用者コード（5桁）を入力します。

— 「変更する内容」の枠内—

[2] 照会資格者（変更後）（「照会資格者」欄）

照会資格者欄に照会可能としたい他企業の利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力又は選択します。

この状態で送信すると以下のような警告画面が出力され、登録が一旦保留されます。

The screenshot shows the USS12 system interface with the following elements:

- Header:** USS12 照会資格者登録（強制入力）
- Navigation:** ファイル(F) 編集(E) 業務(S) 表示(V) オプション(O)
- System Identification:** 航空 (dropdown), 入力情報特定番号 (input field)
- User Code:** 利用者コード* [IGNAC], 処理種別* (dropdown menu)
- Change Status Table:**

01	02	03	04	05
06	07	08	09	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
- Change Content Table:**

01	IA999	I							
06									
11									
16									
21									
26									
31									
36									
- Warning Message Table:**

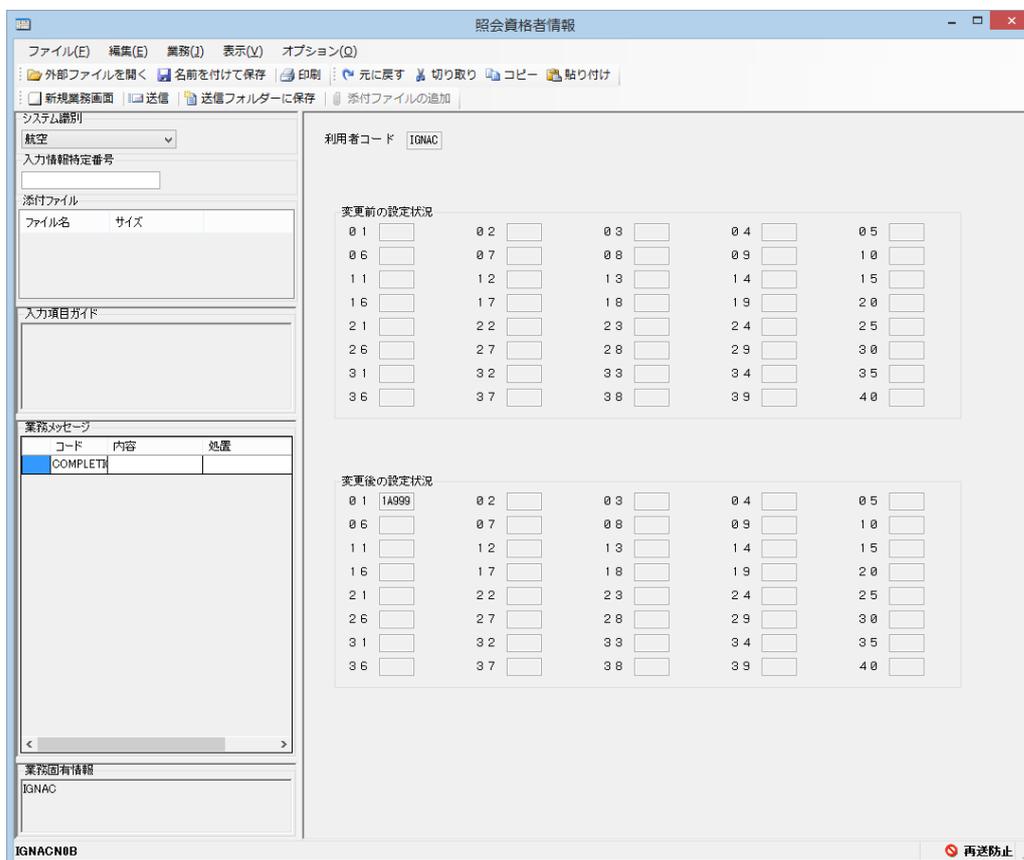
コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力された利用者コードの下3桁と入力された照会資格者の下3桁が一致しない。	入力した照会資格者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「F」を入力する。
- Annotations:**
 - A callout box points to the '処理種別*' dropdown menu, stating: "新しく「処理種別*」欄が表示されます。"
 - A callout box points to the warning message table, stating: "警告メッセージを拡大したもの"

「利用者コード＊」欄下に「処理種別＊」欄が新しく表示されていますので「F」を入力し、送信します。

利用者コード＊

処理種別＊

「COMPLETION」となり、登録完了です。



(2) 変更方法

「照会資格者登録呼出し(USS11)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法及び下記(3)削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（照会資格の権限を取り消す利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに照会資格の権限を持たせる利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

この状態で送信すると(1)のような警告が出力されますので「処理種別＊」欄に「F」を入力し送信します。

(3) 削除方法

「照会資格者登録呼出し(USS11)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により**削除する**内容を入力します。

[2] 照会資格者(変更後) (「照会資格者」欄)

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、照会資格の権限を取り消す利用者コード(5桁)を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力又は選択します。

この状態で送信すると（1）のような警告が出力されますので「処理種別＊」欄に「F」を入力し送信します。

（4）出力情報

本登録により、入力者に対し「照会資格者強制入力情報（出力情報コード：CAL0490）」が配信されます。

（5）留意事項

本業務は登録情報を照会させる者（親）が照会可能者（子）を登録するものです。親の了解なしに子が当該業務で親を登録することもできますが、この場合は「子の情報を親が照会できるようになる」ものであり、子から親の情報を照会できるようにはなりません。

8. 管理資料情報配信要否登録呼出し（UKS11）業務

システム管理者等は、「利用者コード」（5桁）毎に、管理資料情報要否の設定（どの管理資料情報が配信されるかの設定）を呼び出して確認し、変更することができます。

配信要と設定されている管理資料情報には「Y」が表示されています。システム管理者等以外の方が本業務を行う場合は、システム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「利用者コード」欄に呼び出したい利用者コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》

利用者コード*	<input type="text" value="J1NAC"/>
---------	------------------------------------

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「管理資料情報配信要否呼出情報（出力情報コード:CAL0163）」が配信されます。

（2）変更登録方法

上記（1）で呼び出した登録画面に入力し送信します。表示された現在の設定から変更の必要が無い場合は、送信せずそのまま登録画面を閉じます。

＜入力方法＞

- ① 配信を希望する管理資料情報の右欄に「Y」を入力、又は選択します。
- ② 配信を希望しない管理資料情報の右欄は、スペース（空欄）とします。
- ③ 入力が終わったら送信します。

《入力例》 ※管理資料情報配信要否登録呼出し（UKS11）業務の入力例

利用者コード*	<input type="text" value="1ANAC"/>				
共通	海上	航空			
1:輸出申告一覧データ	<input type="text" value="Y"/>	2:一括納付書情報	<input type="text"/>	3:納付番号通知情報(一括)	<input type="text"/>
4:一括納付用明細書情報	<input type="text"/>	5:一括納付用明細データ	<input type="text"/>	6:一括納付用明細総括データ	<input type="text"/>
7:口座使用明細データ(全営業所実績表)	<input type="text" value="Y"/>	8:口座使用明細データ(営業所別実績表)	<input type="text"/>	9:納付書集計データ	<input type="text"/>
10:連記式領収済通知書情報	<input type="text"/>	11:連記式領収控情報	<input type="text"/>	12:歳入金等受入報告表情報	<input type="text"/>
13:口座振替用納付書送付書情報	<input type="text"/>	14:輸入申告一覧データ	<input type="text" value="Y"/>		

本登録等により、入力者に対し「管理資料情報配信要否情報（出力情報コード:CAL0153）」が配信されます。

(3) 留意事項

- ① 管理資料情報には「有料」のものと「無料」のものがあります。
- ② N S Sによる利用申込をされた際に「無料管理資料のみ配信希望」を希望した場合は、本業務で「有料」の管理資料情報の配信を「要」にすることはできません。従って、無料管理資料情報に加え、有料の管理資料情報の配信を希望する場合は、N S Sで変更申込を行ってください。N A C C Sセンターにて審査終了後、利用開始日を経て有料管理資料を取得することができます。
- ③ 利用申込時に「有料の配信希望」と申請した場合は、N A C C SセンターでEDI仕様書（付録6-9）の出力先業種毎に全て「要」を設定しますので、不要な管理資料情報がある場合は、利用者自らが「不要」にしてください。但し、「有料」の管理資料情報の全てを不要に設定することはできません。有料管理資料情報を必ず1つ取得してください。（※1）
- ④ 保存サービスを申し込まれている保税蔵置場・航空会社・機用品業の方は、当該サービス対象の管理資料要否を設定することはできません。（※2）
- ⑤ 以下3つの管理資料情報

「157：DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (DAILY)」

「158：DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (MONTHLY)」

「159：DEPARTURE CARGO MOVEMENT STATISTICS」

を希望する際、受委託関係を結んでいる委託元の情報も反映したい場合は、本業務で配信希望「Y」を設定しただけでは反映しません。

必ずN S Sを利用して、システム設定の混載・航社・機代・航代・機用品メニューから、対象となる委託元航空会社の「DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (DAILY) 出力要否」、「DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (MONTHLY) 出力要否」、「DEPARTURE CARGO MOVEMENT STATISTICS出力要否」欄を「1：出力対象」と選択の上、申込を行ってください。

また、N S Sを利用しシステム設定の混載・航社・機代・航代・機用品メニューから、対象となる委託元航空会社の「DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (DAILY) 出力要否」、「DEPARTURE CARGO REPORT BY FLIGHT (MONTHLY) 出力要否」、「DEPARTURE CARGO MOVEMENT STATISTICS出力要否」欄を「1：出力対象」と申込をされた場合で、本業務の配信希望が「ブランク」であった場合は、N A C C Sセンターにて「Y」を設定します。

(※1) 有料管理資料情報の全てを不要とした場合、エラーとなりエラーコード「R0002」が出力される。

コード	内容	処置	項目ID
R0002	有料管理資料情報の配信可能利用者が有料管理資料情報の配信要否情報を1つ以上に設定していない。	適切な管理資料配信要否情報を入力する。	RCD

共通			海上	航空	
1：輸出申告一覧データ	<input type="button" value="v"/>	2：一括納付書情報	<input checked="" type="button" value="Y"/>	3：納付番号通知情報（一括）	<input type="button" value="v"/>
4：一括納付用明細書情報（月報/随時報）	<input type="button" value="v"/>	5：一括納付用明細データ（月報/随時報）	<input type="button" value="v"/>	6：一括納付用明細総括データ（月報/随時報）	<input type="button" value="v"/>
7：口座使用明細データ（全営業所実績表）	<input type="button" value="v"/>	8：口座使用明細データ（営業所別実績表）	<input type="button" value="v"/>	9：納付書集計データ	<input type="button" value="v"/>
10：連記式領収済通知書情報	<input type="button" value="v"/>	11：連記式領収控情報	<input type="button" value="v"/>	12：歳入金等受入報告表情報	<input type="button" value="v"/>
13：口座振替用納付書送付書情報	<input type="button" value="v"/>	14：輸入申告一覧データ	<input type="button" value="v"/>	15：手数料未納付一覧	<input checked="" type="button" value="v"/>
16：電子決済入金予定データ（請求者用）	<input type="button" value="v"/>				

(※2) 保存サービス利用者が保存対象管理資料を不要に設定した場合、エラーとなりエラーコード「E0003」が出力される

添付ファイル				共通			海上			航空		
ファイル名	サイズ											
入力項目ガイド				RGO REPORT (DAILY) (航空) <input type="checkbox"/> RGO REPORT (MONTHLY) (航空) <input type="checkbox"/> RGO REPORT BY ORIGIN (DAILY) (航空) <input type="checkbox"/>								
Y : 配信する スペース: 配信しない				134: ARRIVAL CA RGO REPORT BY ORIGIN (MONTHLY) (航空) <input type="checkbox"/> 135: ARRIVAL CA RGO REPORT (VIA OTHER PORT) (航空) <input type="checkbox"/> 136: BREAK BULK MONTHLY REPORT (航空) <input type="checkbox"/>								
業務メッセージ				137: 搬出貨物統計データ (輸入) (航空) <input type="checkbox"/> 138: 搬入貨物統計データ (航空) <input type="checkbox"/> 139: 生鮮貨物到着データ (航空) <input type="checkbox"/>								
コード	内容	処置	項目ID	140: 特殊貨物到着データ (航空) <input type="checkbox"/> 141: 航空貨物代理店別売上データ (日報) (航空) <input type="checkbox"/> 142: 航空貨物代理店別売上データ (半月報) (航空) <input type="checkbox"/>								
E0003	入力された利用者コード(保税管理資料)保存サービスを利用しているにもかかわらず、当該管理資料情報の配信要否情報を不要に設定した。	適切な配信要否情報を入力する。	N149	143: 保税蔵置場保管料請求明細データ (航空) <input type="checkbox"/> 144: 料金体系別収入金明細データ (航空) <input type="checkbox"/> 145: 長期蔵置貨物データ (輸入保税・民用) (航空) <input type="checkbox"/>								
				146: 蔵置場所別在庫データ (航空) <input type="checkbox"/> 147: 搬出入貨物統計データ (航空) <input type="checkbox"/> 148: 承認番号別運送件数データ (民用) (航空) <input type="checkbox"/>								
				149: 航空輸入貨物搬出入データ (航空) <input checked="" type="checkbox"/> 150: 航空輸入貨物取扱等一覧データ (航空) <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> 151: INVENTORY CONTROL LIST (航空) <input type="checkbox"/>								
				152: CRAFT HANDLING ACTUAL RESULT LIST (航空) <input type="checkbox"/> 153: REPORT ON CORRECTION QUANTITIES (航空) <input type="checkbox"/> 154: LONG-DATE STORE REPORT (航空) <input type="checkbox"/>								

9. 口座複数利用可能者登録呼出し（UKZ11）業務

※呼び出された情報は、照会用としての利用となり、変更・削除はできません。

システム管理者等は、入力者の口座で関税等の納付を行うことを可能とした利用者の利用者情報を口座番号毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用します。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「口座複数利用可能者登録呼出し（UKZ11）」業務を利用し、口座番号（「口座番号」欄）に呼び出したい口座番号を入力して送信することにより行います。

《入力例》

口座番号*	2345678900019
-------	---------------

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「口座複数利用可能者呼出情報（出力情報コード：CAL0200）」が配信されます。

10. 輸出入許可通知情報等二重出力用基本情報登録呼出し（UOJ11）業務

※呼び出された情報は、照会用としての利用となり、変更・削除はできません。

ゲートウェイ接続（SMTP双方向またはSMTP/POP3）によるNACCS利用者が、何らかの理由により、パソコン用パッケージソフトを利用して輸出入申告等を行った場合、許可通知情報等は輸出入申告等を行ったパソコンに出力され、自社システムには出力されないことから、自社システムでの集中管理ができないこととなります。

このため、ゲートウェイ接続による利用者が、パソコン用パッケージソフトを利用して輸出入申告等を行った場合であっても、許可通知情報等の出力を、輸出入申告等を行ったパソコンに加え、自社システム宛に出力させたい場合に、二重出力用基本情報の登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行います。

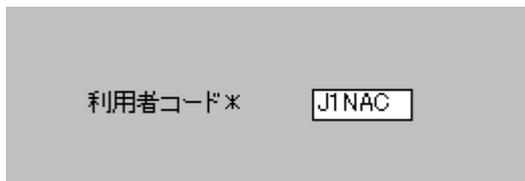
システム管理者等は、利用者コード（5桁）単位に、輸出入許可通知情報等二重出力用基本情報を呼び出すことができます。

なお、本業務は照会業務としてのみ利用可能であり、新規設定、登録内容の変更等につきましてはNSSにお申込みください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、利用者コード（「利用者コード」欄）に呼び出したい利用者コードを入力して送信することにより行います。

《入力例》



利用者コード*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「二重出力用基本呼出情報（出力情報コード：CAL0291）」が配信されます。

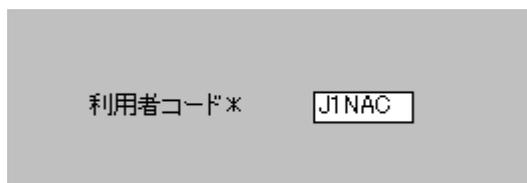
1 1 - 1 . 輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理照会 (UON01) 業務

システム管理者等は、輸出入許可通知情報等の二重出力を行う宛先について、自社システム用利用者コード (5桁) 毎に、出力情報コードと出力先を一覧照会することができます。

(1) 照会方法

照会を行おうとする場合は、「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理照会 (UON01)」業務を利用し、利用者コード (「利用者コード」欄) に照会したい自社システム用の利用者コード (5桁) を入力して送信することにより行います。

≪入力例≫



The image shows a screenshot of a form with a grey background. On the left, the text '利用者コード*' is displayed. To its right is a rectangular input field containing the text 'J1NAC'.

(2) 出力情報

本照会により、入力者に対し「二重出力用宛先管理照会情報 (出力情報コード: CAL0371)」が配信されます。

1 1 - 2 . 輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録呼出し (UON11) 業務

システム管理者等は、輸出入許可通知情報等の二重出力情報について、二重出力を行う場合の宛先情報を、自社システム用利用者コード (5桁) および出力情報コード毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用します。

呼び出しは、「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録呼出し (UON11)」業務を利用し、次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

[1] 利用者コード (「利用者コード」欄)

呼び出したい自社システム用の利用者コード (5桁) を入力します。

[2] 出力情報コード (「出力情報コード」欄)

上記 [1] で入力した利用者コードに係る出力情報コードを入力します。

ー入力例ー

処理結果通知電文以外 (6桁)

処理結果通知電文 (7桁) 、 (5桁)

全ての出力情報コード (6桁)

《入力例》

利用者コード*	<input type="text" value="J1NAC"/>
出力情報コード*	<input type="text" value="SAX1AG"/>

(2) 出力情報

本呼び出し (照会) により、入力者に対し「二重出力用宛先管理呼出情報 (出力情報コード: CAL0381)」が配信されます。

1 2 - 1 . 許可後訂正可能者登録 (UKT) 業務

輸出・積戻し許可後に許可内容の訂正（輸出許可内容変更申請（EAC）業務（船名・便名・数量等の変更））を行う場合、システムでは申告者が行うほか、申告者以外の同一企業内通関業者に依頼して行うことも可能となっています。

このため、システム管理者等は、当該業務に係る委託関係を、当初申告者の利用者コード（5桁）毎に許可後訂正を委託する利用者の登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「許可後訂正可能者登録呼出し（UKT11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

当初申告者の利用者コード（5桁）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

[2] 許可後訂正可能者（変更後）（「許可後訂正可能者」欄）

許可後訂正業務を委託する通関業者の利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

(2) 変更方法

「許可後訂正可能者登録呼出し（UKT11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法及び下記(3)削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（許可後訂正の委託を取り消す通関業者の利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに許可後訂正を委託する同一企業内通関業者の利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

(3) 削除方法

「許可後訂正可能者登録呼出し（UKT11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により **削除する** 内容を入力します。

[2] 許可後訂正可能者（変更後）（「許可後訂正可能者」欄）

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、許可後訂正の委託を取り消す利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力または選択します。

(4) 出力情報

本登録により、入力者に対し「許可後訂正可能者情報（出力情報コード：CAL0170）」が配信されます。

(5) 留意事項

- ① 許可後訂正可能者として登録された利用者が実施可能なオンライン業務は以下のとおりです。

業務コード	業務名	備考
E A A	輸出許可内容変更申請事項登録	
E A B	輸出許可内容変更申請事項呼出し	
U A A	別送品輸出許可内容変更申請事項登録	
U A B	別送品輸出許可内容変更申請事項呼出し	
A H S	輸出貨物取扱登録（仕分け）呼出し	
A H S 0 1	輸出貨物取扱登録（仕分け）	
A H T	輸出貨物取扱登録（仕合せ）呼出し	
A H T 0 1	輸出貨物取扱登録（仕合せ）	
M E D	輸出マニフェスト通関申告呼出し	
M A F	輸出マニフェスト通関申告許可内容変更申請	
E A M 0 1	輸出許可内容変更申請（積込港一括変更）	
I E U	別送品輸出申告照会	
I E X (I E X O W)	輸出申告等照会	
E E A	輸出取止め再輸入申告事項登録	
E E B	輸出取止め再輸入申告事項呼出し	

- ② 通関士証票番号が登録された通関業者用利用者コードを親とし、通関士証票番号が登録されていない自社通関用利用者コードを子として登録した場合、通関士資格を確認する後続業務が実施できなくなりますので、そのような設定は行わないでください。

（例として、子の自社通関用利用者コードで「輸出許可内容変更申請事項登録（E A A）」業務を実施すると、後続業務の「輸出許可内容変更申請（E A C）」業務が実施できなくなる）

- ③ 上記②に関連し、自社通関用利用者コードを親とし、通関業者用利用者コードを子として登録した場合、通関業者用利用者コードで後続業務を実施することは可能ですが、一旦通関業者用利用者コードで後続業務を実施した場合（自社通関から業務通関へ切り替えた場合）は、その後親の自社通関用利用者コードにて通関士資格を確認する後続業務が実施できなくなりますので特にご留意ください。

（例として、一度子の通関業者用利用者コードでE A A→E A C業務を行った後、再度親の自社通関用利用者コードでE A A業務を実施すると、後続のE A C業務が実施できなくなる）

《入力例》 ※許可後訂正可能者登録呼出し（UKT11）業務を行った後、本業務を行う入力例
 （現在設定中の「IDNAC」から「IBNAC」へ変更する場合の例）

現在の設定状況が出力
 されます。

利用者コード*

変更前の設定状況

01	<input type="text" value="1A999"/>	02	<input type="text" value="IDNAC"/>	03	<input type="text" value="IENAC"/>	04	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>
11	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>
16	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>
21	<input type="text"/>	22	<input type="text"/>	23	<input type="text"/>	24	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>
26	<input type="text"/>	27	<input type="text"/>	28	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	30	<input type="text"/>
31	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	34	<input type="text"/>	35	<input type="text"/>
36	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	38	<input type="text"/>	39	<input type="text"/>	40	<input type="text"/>

変更する内容

01	<input type="text" value="IDNAC"/>	<input type="text" value="D"/>	02	<input type="text" value="IBNAC"/>	<input type="text" value="I"/>	03	<input type="text"/>	04	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>
11	<input type="text"/>	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>
16	<input type="text"/>	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>
21	<input type="text"/>	<input type="text"/>	22	<input type="text"/>	<input type="text"/>	23	<input type="text"/>	24	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>
26	<input type="text"/>	<input type="text"/>	27	<input type="text"/>	<input type="text"/>	28	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	30	<input type="text"/>
31	<input type="text"/>	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	34	<input type="text"/>	35	<input type="text"/>
36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	<input type="text"/>	38	<input type="text"/>	39	<input type="text"/>	40	<input type="text"/>

利用者コード
 入力欄

更新種別欄

許可後訂正可能者を、現在の、「IDNAC」から「IBNAC」へ変更するため、許可後訂正可能者欄01に「IDNAC」を入力し、更新種別は「D：削除」を選択、許可後訂正可能者欄02に「IBNAC」を入力し、更新種別は「I：追加」を選択します。

1 2 - 2 . 許可後訂正可能者登録呼出し (UKT 1 1) 業務

システム管理者等は、輸出・積戻し許可後の許可内容の訂正（輸出許可内容変更申請（EAC）業務（船名・便名・数量等の変更））を委託した利用者の利用者情報を利用者コード（5桁）毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

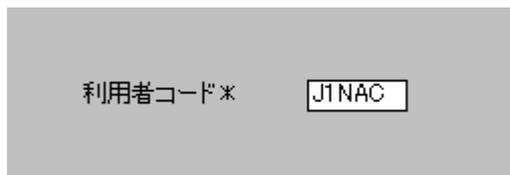
呼び出された情報は、「許可後訂正可能者登録（UKT）」業務により変更または削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「許可後訂正可能者登録呼出し（UKT 1 1）」業務を利用して、利用者コード（「利用者コード」欄）に呼び出したい利用者コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a form with a grey background. On the left, the text '利用者コード*' is displayed. To its right is a rectangular input field with a thin black border containing the text 'JINAC'.

(2) 出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「許可後訂正可能者呼出情報（出力情報コード：CAL0180）」が配信されます。

1 2 - 3. 許可後訂正可能者登録（強制入力）（UK T 1 2）業務

輸出・積戻し許可後に許可内容の訂正（輸出許可内容変更申請（EAC）業務（船名・便名・数量等の変更））を行う場合、システムでは申告者が行うほか、申告者以外の通関業者（利用者コード（5桁）の異なる通関業者）に依頼して行うことも可能となっています。

このため、システム管理者等は、当該業務に係る委託関係を、当初申告者の利用者コード（5桁）毎に許可後訂正を委託する利用者の登録、変更または削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「許可後訂正可能者登録呼出し（UK T 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を読み出してから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

当初申告者の利用者コード（5桁）を入力します。

— 「変更する内容」の枠内—

[2] 許可後訂正可能者（変更後）（「許可後訂正可能者」欄）

許可後訂正業務を委託する通関業者の利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

この状態で送信すると以下のような警告画面が出力され、登録が一旦保留されます。

The screenshot shows the 'UKT12 許可後訂正可能者登録（強制入力）' window. The '処理種別*' dropdown menu is highlighted with a red circle and a callout box stating '新しく「処理種別＊」欄が表示されます。' (The '処理種別*' field is newly displayed).

The '変更する内容' section contains a grid of input fields for user codes and update types. A callout box points to a warning message in the '業務メッセージ' section, stating '警告メッセージを拡大したもの' (Expanded warning message).

変更前の設定状況	01	02	03	04	05
06	07	08	09	10	11
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	

変更する内容	01	02	03	04	05
06	07	08	09	10	11
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	

コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力された利用者コードの下3桁と入力された許可後訂正可能者の下3桁が一致しない。	入力した許可後訂正可能者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「F」を入力する。

コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力された利用者コードの下3桁と入力された照会資格者の下3桁が一致しない。	入力した照会資格者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「F」を入力する。

「利用者コード*」欄下に「処理種別*」欄が新しく表示されていますので「F」を入力し、送信します。

利用者コード*	IGNAC
処理種別*	F

「COMPLETION」となり、登録完了です。

UKT 許可後訂正可能者登録

ファイル(E) 編集(E) 業務(J) 表示(V) オプション(O)

外部ファイルを開く 名前を付けて保存 印刷 元に戻す 切り取り コピー 貼り付け

新規業務画面 送信 送信フォルダーに保存 添付ファイルの追加

システム識別
航空
入力情報特定番号
添付ファイル
ファイル名 サイズ
入力項目ガイド
業務メッセージ
コード 内容 処理
COMPLETION
業務固有情報
IGNAC
IGNAC00B 再送防止

変更前の設定状況

01	02	03	04	05
06	07	08	09	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40

変更後の設定状況

01	1T999	02	03	04	05
06		07	08	09	10
11		12	13	14	15
16		17	18	19	20
21		22	23	24	25
26		27	28	29	30
31		32	33	34	35
36		37	38	39	40

(2) 変更方法

「許可後訂正可能者登録呼出し (UKT 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容を読み出し、上記(1)登録方法及び下記(3)削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（照会資格の権限を取り消す利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに照会資格の権限を持たせる利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

この状態で送信すると(1)のような警告が出力されますので「処理種別*」欄に「F」を入力し送信します。

(3) 削除方法

「許可後訂正可能者登録呼出し (UKT 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容を読み出し、以下により削除する内容を入力します。

[2] 許可後訂正可能者（変更後）（「許可後訂正可能者」欄）

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、照会資格の権限を取り消す利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別 (「更新種別」 欄)

「D : 削除」を入力又は選択します。

この状態で送信すると (1) のような警告が出力されますので「処理種別*」欄に「F」を入力し送信します。

(4) 出力情報

本登録により、入力者に対し「許可後訂正可能者強制入力情報 (出力情報コード : CAL0470) 」が配信されます。

(5) 留意事項

- ① 本業務は登録情報の許可後訂正を委託する者 (当初の申告予定者 : 親) が訂正を受託する者 (実際に許可後訂正申告を行う者 : 子) を登録するものです。
親の了解なしに子が当該業務で親を登録することもできますが、この場合は「子の情報を親が訂正可能となる」ものであり、子から親の情報を許可後訂正できるようにはなりません。
- ② 通関士証票番号が登録された通関業者用利用者コードを親とし、通関士証票番号が登録されていない自社通関用利用者コードを子として登録した場合、通関士資格を確認する後続業務が実施できなくなりますので、そのような設定は行わないでください。
(例として、子の自社通関用利用者コードで「輸出許可内容変更申請事項登録 (E A A) 」業務を実施すると、後続業務の「輸出許可内容変更申請 (E A C) 」業務が実施できなくなる)
- ③ 上記②に関連し、自社通関用利用者コードを親とし、通関業者用利用者コードを子として登録した場合、通関業者用利用者コードで後続業務を実施することは可能ですが、一旦通関業者用利用者コードで後続業務を実施した場合 (自社通関から業務通関へ切り替えた場合) は、その後親の自社通関用利用者コードにて通関士資格を確認する後続業務が実施できなくなりますので特にご留意ください。
(例として、一度子の通関業者用利用者コードで E A A → E A C 業務を行った後、再度親の自社通関用利用者コードで E A A 業務を実施すると、後続の E A C 業務が実施できなくなる)

1 3. 納付書等出力先登録呼出し（UNF 1 1）業務

システム管理者等は、特定の輸出入者コード（12桁）に係る納付書等の出力先情報を呼び出します。

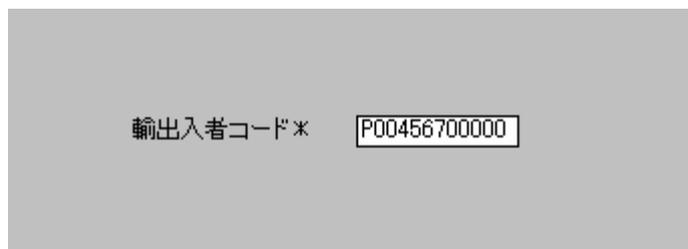
なお、本業務は照会業務として利用します。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「納付書等出力先登録呼出し（UNF 1 1）」業務を利用し、輸出入者コード（「輸出入者コード」欄）に輸出入申告に係る輸出入者コードもしくは法人番号（12桁もしくは17桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



輸出入者コード*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「納付書等出力先呼出情報（出力情報コード：CAL0221）」が配信されます。

1.4. 保税地域関連情報登録呼出し（UBA11）業務

システム管理者等は、入力された保税地域に対する保税地域関連情報を呼び出すことができます。
なお、本業務は照会業務として利用することが可能な他、呼び出した登録画面から、各種帳票等の出力の有無について登録または変更（以下「登録等」という。）を行うことが可能です。

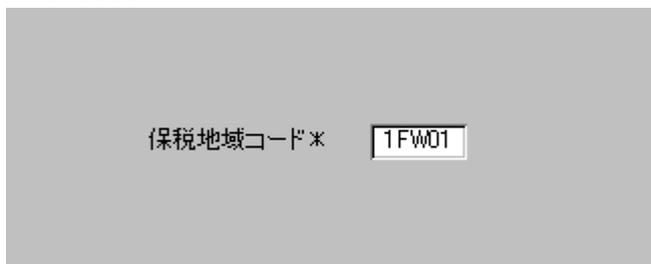
照会、登録等は、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、保税地域コード（「保税地域コード」欄）に呼び出したい保税地域コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a web form. On the left, there is a label '保税地域コード*' (Tax Free Area Code*). To its right is a text input field containing the value '1FW01'. The background is a light gray color.

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「保税地域関連情報登録情報（出力情報コード：AAL5312）」が配信されます。

（2）新規登録方法

上記（1）で呼び出した登録画面の以下の項目に、それぞれ出力する場合等は「Y」の入力または選択を行い送信します。

— 「輸出関連」の枠内—

[1] 許可・承認貨物情報（輸出）出力表示__A I R

（「許可・承認貨物情報（輸出）出力表示__A I R」欄）

許可・承認貨物情報（輸出）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[2] 許可・承認貨物情報（輸出）C S V出力表示__A I R

（「許可・承認貨物情報（輸出）C S V出力表示__A I R」欄）

C S V電文形式の許可・承認貨物情報（輸出）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[3] 検査指定情報（輸出）出力表示__A I R

（「検査指定情報（輸出）出力表示__A I R」欄）

輸出申告または審査区分変更・検査（運送）指定で検査となった場合に出力される検査指定情報（輸出）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

- [4] 搬出確認インタフェース表示（「搬出確認インタフェース表示」欄）
搬出確認（輸出）が行われた場合に、蔵置情報を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [5] 積付結果登録インタフェース表示（「積付結果登録インタフェース表示」欄）
積付結果登録業務が行われた場合に、積付ULD情報を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [6] 搬送指示書（輸出）作成表示（「搬送指示書（輸出）作成表示」欄）
貨物取扱登録（内容点検、仕分、仕合）（AHT・AHS・AHN）業務が行われた場合に、搬送指示情報を作成する場合は「Y」、作成しない場合はスペース（空欄）とします。
- [7] 積付結果登録帳票作成表示（「積付結果登録帳票作成表示」欄）
ULA・ULM・ULUの各業務が行われた場合に、積付結果登録情報及び積付結果保留情報を作成する場合は「Y」、作成しない場合はスペース（空欄）とします。
- [8] 保税蔵置場用貨物取扱控（輸出）出力可否表示
（「保税蔵置場用貨物取扱控（輸出）出力可否表示」欄）
AHT・AHS・AHNの各業務を行った場合に、貨物取扱控情報（輸出）A、貨物取扱控情報（輸出）Bまたは貨物取扱控情報（輸出）Cを出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [9] AWB受渡書情報出力可否表示（「AWB受渡書情報出力可否表示」欄）
AWB受渡書情報を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

—「輸入関連」の枠内—

- [10] 許可・承認貨物情報（輸入）出力表示__AIR
（「許可・承認貨物情報（輸入）出力表示__AIR」欄）
許可・承認貨物情報（輸入）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [11] 許可・承認貨物情報（輸入）CSV出力表示__AIR
（「許可・承認貨物情報（輸入）CSV出力表示__AIR」欄）
CSV電文形式の許可・承認貨物情報（輸入）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [12] 検査指定情報（輸入）出力表示__AIR
（「検査指定情報（輸入）出力表示__AIR」欄）
輸入申告または審査区分変更・検査（運送）指定で検査となった場合に出力される検査指定情報（輸入）を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。
スペース（空欄）とした場合は、PUO業務の検査一時持出し（処理種別「5」）は不可となりますので留意願います。
- [13] 予備申告（S）通知情報出力可否表示__AIR
（「予備申告（S）通知情報出力可否表示__AIR」欄）

予備申告（S）通知情報を入力する場合は「Y」、入力しない場合はスペース（空欄）とします。

- [14] 搬出依頼情報出力表示（OUT用）（「搬出依頼情報出力表示（OUT用）」欄）
OUT業務を行った場合に出力される搬出依頼情報を入力する場合は「Y」、
入力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [15] 搬出依頼情報出力表示（RSV用）（「搬出依頼情報出力表示（RSV用）」欄）
RSV業務を行った場合に出力される搬出依頼情報を入力者に出力する場
合は「Y」、入力者と保税蔵置場に入力する場合は「H」、入力しない場合は
スペース（空欄）とします。
- [16] 保税蔵置場用貨物取扱控（輸入）出力可否表示
（「保税蔵置場用貨物取扱控（輸入）出力可否表示」欄）
保税蔵置場の管理者以外がCHN・CHSの各業務を行った場合に出力され
る、貨物取扱控情報（輸入）Aまたは貨物取扱控情報（輸入）Bを入力する場
合は「Y」、入力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [17] 訂正控出力表示（「訂正控出力表示」欄）
保税蔵置場の管理者以外がCAI業務を行った場合に出力される、訂正控情
報または訂正保留控情報を入力する場合は「Y」、入力しない場合はスペース
（空欄）とします。
- [18] 請求書・計算書・領収書情報出力表示
（「請求書・計算書・領収書情報出力表示」欄）
OUT、EXRの各業務を行った場合に出力される、請求書・計算書・領収
書情報を入力する場合は「Y」、入力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [19] 搬出情報出力要表示（「搬出情報出力要表示」欄）
OUT、EXRの各業務を行った場合に出力される、搬出情報を入力する場
合は「Y」、入力しない場合はスペース（空欄）とします。
- [20] 蔵置料金未発生出力表示（「蔵置料金未発生出力表示」欄）
OUT、EXRの各業務を行う際に蔵置料欄をスペースとした場合に出力さ
れる、搬出情報を入力する場合は「Y」、入力しない場合はスペース（空欄）
とします。
請求書・領収書・計算書または搬出情報を入力する場合は、上記 [20] の請
求書・計算書・領収書情報出力表示または [21] 搬出情報出力表示を「Y」と
する必要があります。
- [21] 搬送指示情報（輸入）A（KAM業務）出力要否表示
（「搬送指示情報（輸入）A（KAM業務）出力要否表示」欄）
KAM業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）AをEXC電
文で入力する場合は「C」、INQ電文で入力する場合は「Q」、入力しない
場合はスペース（空欄）とします。
- [22] 搬送指示情報（輸入）A（OUT業務）出力要否表示
（「搬送指示情報（輸入）A（OUT業務）出力要否表示」欄）
OUT業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）AをEXC電

文で出力する場合は「C」、INQ電文で出力する場合は「Q」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[23] 搬送指示情報（輸入）A（RSV業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）A（RSV業務）出力可否表示」欄）

RSV業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）Aを出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[24] 搬送指示情報（輸入）A（PUO業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）A（PUO業務）出力可否表示」欄）

PUO業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）AをEXC電文で出力する場合は「C」、INQ電文で出力する場合は「Q」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[25] 搬送指示情報（輸入）B（CHN業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）B（CHN業務）出力可否表示」欄）

CHN業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）Bを出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[26] 搬送指示情報（輸入）C（CHS業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）C（CHS業務）出力可否表示」欄）

CHS業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）Cを出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[27] 搬送指示情報（輸入）C（PUO業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）C（PUO業務）出力可否表示」欄）

PUO業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）CをEXC電文で出力する場合は「C」、INQ電文で出力する場合は「Q」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[28] 搬送指示情報（輸入）D（PUO業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸入）D（PUO業務）出力可否表示」欄）

PUO業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸入）DをEXC電文で出力する場合は「C」、INQ電文で出力する場合は「Q」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[29] 搬送指示情報（輸出）D（EXR業務）出力可否表示

（「搬送指示情報（輸出）D（EXR業務）出力可否表示」欄）

EXR業務を行った場合に出力される、搬送指示情報（輸出）DをEXC電文で出力する場合は「C」、INQ電文で出力する場合は「Q」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[30] 保税運送承認貨物情報等出力可否表示__AIR

（「保税運送承認貨物情報等出力可否表示__AIR」欄）

GOL01業務、OLT01業務、CET01業務を行った際に、保税運送承認貨物情報、保税運送承認訂正貨物情報、保税運送承認取消貨物情報または運送期間延長承認貨物情報を発送場所、運送先の蔵置場の管理者宛に出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

[31] 併せ運送通知情報（輸入）出力可否表示__A I R

（「併せ運送通知情報（輸入）出力可否表示__A I R」欄）

併せ運送通知情報を出力する場合は「Y」、出力しない場合はスペース（空欄）とします。

（3）変更方法

変更を行う場合は、上記（1）で呼び出した登録画面で現在の設定状況を確認した後、必要な情報の入力を行い送信します。上記（2）新規登録方法に準じて「Y」またはスペース（空欄）を選択します。

（4）出力情報

本登録等により、指定した出力端末に「保税地域関連情報（出力情報コード：AAL5302）」が配信されます。

《入力例》 ※保税地域関連情報登録呼出し（U B A 1 1）業務を行った後、本業務を行う入力例（出力したい情報に「Y」をまたは逆に出力を取り止める場合はスペース（空欄）とする）

保税地域コード* <input type="text" value="1HE06"/>			
輸出関連			
許可・承認貨物情報（輸出） 出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>	許可・承認貨物情報（輸出） C S V出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>
検査指定情報（輸出） 出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>	搬出確認インタフェース表示	<input type="text"/>
積付結果登録インタフェース表示	<input type="text"/>	搬送指示書（輸出）作成表示	<input type="text"/>
積付結果登録帳票作成表示	<input type="text"/>	保税蔵置場用貨物取扱控（輸出） 出力可否表示	<input type="text"/>
A W B受渡書情報出力可否表示	<input type="text"/>		
輸入関連			
許可・承認貨物情報（輸入） 出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>	許可・承認貨物情報（輸入） C S V出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>
検査指定情報（輸入） 出力表示__A I R	<input type="text" value="Y"/>	予備申告（S）通知情報 出力可否表示__A I R	<input type="text"/>

現在の設定状況が出力されます。

（5）留意事項

登録等を行う場合には、必ず「U B A 1 1（呼出し）」を行う必要があります。

15-1. 保税蔵置場別クレジット扱業者登録（UBC）業務

システム管理者等は、保税蔵置場別にクレジット扱業者を追加または削除（以下「追加等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

追加等は、「保税蔵置場別クレジット扱業者登録（UBC）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力または選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）追加方法

[1] 保税蔵置場（「保税蔵置場」欄）

保税地域コードを入力します。

[2] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

[3] 利用者コード（「利用者コード」欄）

蔵置料金の支払いをCREDIT（クレジット）で行う利用者の利用者コードを入力します。

（2）変更方法

「保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し（UBC11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記（1）追加方法および下記（3）削除方法を併用して入力します。

具体的には、削除したい利用者コードの更新種別（クレジット扱業者を取消す利用者の利用者コードの更新種別に「D：削除」を入力または選択）と追加したい利用者コード及び更新識別（新たにクレジット扱業者とする利用者の利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力または選択します。

（3）削除方法

「保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し（UBC11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、削除対象の利用者コードに係る更新種別を入力または選択します。

[5] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力または選択します。

（4）出力情報

本登録等により、「保税蔵置場別クレジット扱業者情報（出力情報コード：AAL5321）」が配信されます。

《入力例》 ※保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し（UBC11）業務を行った後、本業務を行う入力例（「J2NAC」から「J3NAC」に変更する場合の入力例）

保税蔵置場

更新種別	利用者コード	更新種別	利用者コード	更新種別	利用者コード	更新種別	利用者コード
1	<input type="text" value="J1NAC"/>	2	<input type="text" value="D"/> <input type="text" value="J2NAC"/>	3	<input type="text" value="I"/> <input type="text" value="J3NAC"/>	4	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>
9	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>	11	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>
13	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>
17	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>
21	<input type="text"/>	21	<input type="text"/>	21	<input type="text"/>	21	<input type="text"/>
25	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>
29	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>
33	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>	33	<input type="text"/>
37	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>	37	<input type="text"/>
41	<input type="text"/>	41	<input type="text"/>	41	<input type="text"/>	41	<input type="text"/>
45	<input type="text"/>	45	<input type="text"/>	45	<input type="text"/>	45	<input type="text"/>
49	<input type="text"/>	49	<input type="text"/>	49	<input type="text"/>	49	<input type="text"/>
53	<input type="text"/>	53	<input type="text"/>	53	<input type="text"/>	53	<input type="text"/>
57	<input type="text"/>	57	<input type="text"/>	57	<input type="text"/>	57	<input type="text"/>
61	<input type="text"/>	61	<input type="text"/>	61	<input type="text"/>	61	<input type="text"/>
65	<input type="text"/>	65	<input type="text"/>	65	<input type="text"/>	65	<input type="text"/>
69	<input type="text"/>	69	<input type="text"/>	69	<input type="text"/>	69	<input type="text"/>
73	<input type="text"/>	73	<input type="text"/>	73	<input type="text"/>	73	<input type="text"/>
77	<input type="text"/>	77	<input type="text"/>	77	<input type="text"/>	77	<input type="text"/>
81	<input type="text"/>	81	<input type="text"/>	81	<input type="text"/>	81	<input type="text"/>
85	<input type="text"/>	85	<input type="text"/>	85	<input type="text"/>	85	<input type="text"/>
89	<input type="text"/>	89	<input type="text"/>	89	<input type="text"/>	89	<input type="text"/>
		30	<input type="text"/>	31	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>
		34	<input type="text"/>	35	<input type="text"/>	36	<input type="text"/>
		38	<input type="text"/>	39	<input type="text"/>	40	<input type="text"/>
		42	<input type="text"/>	43	<input type="text"/>	44	<input type="text"/>
		46	<input type="text"/>	47	<input type="text"/>	48	<input type="text"/>
		50	<input type="text"/>	51	<input type="text"/>	52	<input type="text"/>
		54	<input type="text"/>	55	<input type="text"/>	56	<input type="text"/>
		58	<input type="text"/>	59	<input type="text"/>	60	<input type="text"/>
		62	<input type="text"/>	63	<input type="text"/>	64	<input type="text"/>
		66	<input type="text"/>	67	<input type="text"/>	68	<input type="text"/>
		70	<input type="text"/>	71	<input type="text"/>	72	<input type="text"/>
		74	<input type="text"/>	75	<input type="text"/>	76	<input type="text"/>
		78	<input type="text"/>	79	<input type="text"/>	80	<input type="text"/>
		82	<input type="text"/>	83	<input type="text"/>	84	<input type="text"/>
		86	<input type="text"/>	87	<input type="text"/>	88	<input type="text"/>
		90	<input type="text"/>	91	<input type="text"/>	92	<input type="text"/>

「J2NAC」をクレジット扱い利用者から削除する
更新種別「D:削除」

「J3NAC」をクレジット扱い利用者として登録する
更新種別「I:追加」

15-2. 保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し（UBC11）業務

システム管理者等は、入力された保税地域に対する保税蔵置場別クレジット扱業者情報を呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「保税蔵置場別クレジット扱業者登録（UBC）」業務により追加または削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「保税蔵置場別クレジット扱業者登録呼出し（UBC11）」業務を利用し、保税蔵置場（「保税蔵置場」欄）に呼び出したい保税地域コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



A screenshot of a form with a grey background. On the left, the text '保税蔵置場*' is displayed. To its right is a text input field containing the alphanumeric code '1FW01'.

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「保税蔵置場別クレジット扱業者呼出情報（出力情報コード：AAL5331）」が配信されます。

16-1. 機用品受託航空会社登録（UCJ）業務

システム管理者等は、機用品に係る受託航空会社を追加、変更または削除（以下「追加等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

追加等は、「機用品受託航空会社登録（UCJ）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力または選択して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）追加方法

[1] 保税地域コード（「保税地域コード」欄）

保税地域コード（5桁）を入力します。

[2] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

[3] 受託航空会社（「受託航空会社」欄）

航空会社コード（2桁）を入力します。

[4] 輸入者コード（「輸入者コード」欄）

受託航空会社の輸入者コード（12桁）又は法人番号（17桁）を入力します。（無符号輸入者は入力できません。）

先頭8桁又は13桁で入力した場合は、システムで末尾4桁に「0000」を補完します。

（2）変更方法

「機用品受託航空会社登録呼出し（UCJ11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、受託航空会社に係る輸入者コードを変更し更新種別を入力します。

[2] 更新種別（「更新種別」欄）

「U：変更」を入力または選択します。

[4] 輸入者コード（「輸入者コード」欄）

受託航空会社の輸入者コード（12桁）を入力します。（無符号輸入者は入力できません。）

先頭8桁で入力した場合は、システムで末尾4桁に「0000」を補完します。

（3）削除方法

「機用品受託航空会社登録呼出し（UCJ11）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、削除対象の受託航空会社に係る更新種別を入力します。

[2] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力または選択します。

（4）出力情報

本登録等により、入力者に対し「機用品受託航空会社情報（出力情報コード：AAL5341）」が配信されます。

《入力例》 ※機用品受託航空会社登録呼出し（UCJ11）業務を行った後、本業務を行う
 入力例（受託航空会社「BB」の輸入者コードを変更、受託航空会社「CC」を
 削除、更に受託航空会社「DD」を追加する例）

保稅地域コード* 1FW01

受委託航空会社「BB」の輸入者コードを「P00987650000」
 ↓
 「P00123450000」へ変更
 更新種別「U:変更」

更新種別	受託航空会社*	輸入者コード	更新種別	受託航空会社*	輸入者コード
1 U	BB	P00123450000	2 D	CC	P00234560000
3 I	DD	P00345670000	4		
5			6		
11			12		
13			14		
15			16		
17			18		
19			20		
21			22		
23			24		
25			26		
27			28		
29			30		
31			32		
33			34		
35			36		
37			38		
39			40		
41			42		
43			44		
45			46		

受委託航空会社「DD」を追加
 更新種別「I:追加」

受委託航空会社「CC」を削除
 更新種別「D:削除」

16-2. 機用品受託航空会社登録呼出し（UCJ11）業務

システム管理者等は、入力された保税地域に対する機用品受託航空会社情報を保税地域コード毎に呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

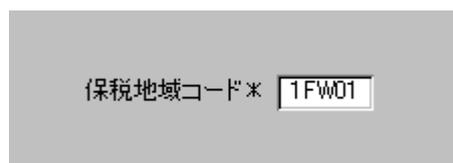
呼び出された情報は、「機用品受託航空会社登録（UCJ）」業務により追加、変更または削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、「機用品受託航空会社登録呼出し（UCJ11）」業務を利用し、保税地域コード（「保税地域コード」欄）に呼び出したい保税地域コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



保税地域コード*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「機用品受託航空会社呼出情報（出力情報コード：AAL5351）」が配信されます。

17. 蔵置場所別在庫データ出力要否設定呼出し（UIA11）業務

システム管理者等は、管理資料「蔵置場所別在庫データ」の出力要否等について、現在の設定状況を保税地域コード（5桁）毎に呼び出すことができます。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能な他、呼び出した登録画面から、管理資料情報の配信要否について登録または変更（以下「登録等」という。）を行うことが可能です。

照会、登録等は、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

これにより、出力要否を「スペース（空欄）」以外となっているものについては「蔵置場所別在庫データ」が出力されることとなる他、当該管理資料のロケーション毎の件数が計上されることとなる。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

（1）呼び出し（照会）方法

呼び出しは、保税蔵置場（「保税蔵置場」）欄に呼び出したい保税地域コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



保税蔵置場* 1FW01

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「蔵置場所別在庫データ出力要否設定呼出情報（出力情報コード：AAL5390）」が配信されます。

（2）新規登録方法

上記（1）で呼び出した登録画面の以下の項目に、出力要否の入力または選択を行い送信します。

[2] 出力要否（「出力要否」欄）

以下のいずれかを入力または選択します。

出力要否	内 容
1	0時時点の輸入貨物情報から出力する
2	5時時点の輸入貨物情報から出力する
3	双方出力する
スペース（空欄）	出力不要

[3] MAWB情報出力要否（「MAWB情報出力要否」欄）

次のいずれかを入力または選択します。

出力要否	内 容
Y	MAWB情報を出力する
スペース（空欄）	MAWB情報を出力しない

[4] 全ロケーション対象表示（「全ロケーション対象表示」欄）

次のいずれかを入力または選択します。

出力要否	内 容
Y	全ロケーションを出力対象とする
スペース（空欄）	全ロケーションを出力対象としない

[5] ロケーション（「ロケーション」欄）

出力対象のロケーションを入力します。

上記 [4] で「スペース（空欄）」となっている場合は、最低1件入力されている必要があり、「Y:全ロケーションを出力対象とする」となっている場合は、全て「スペース（空欄）」となっている必要があります。

(3) 変更方法

変更を行う場合は、上記（1）で呼び出した登録画面で現在の設定状況を確認した後、必要な情報の入力を行い送信します。上記（2）新規登録方法に準じて「Y」、「1」～「3」またはスペース（空欄）を選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「蔵置場所別在庫データ出力要否設定情報（出力情報コード：AAL5380）」が配信されます。

(5) 留意事項

登録等を行う場合には、必ず「UIA11（呼出し）」を行う必要があります。

《入力例》 ※蔵置場所別在庫データ出力可否設定呼出し（UIA11）業務を行った後、本業務を行う入力例（毎月1日と16日に全てのロケーション分のデータを出力するよう登録する例）

保税蔵置場*

	出力可否*	MAWB	全ロケーション	ロケーション													
01日	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="Y"/>	<input type="text" value="Y"/>	<input type="text"/>													
02日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
03日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
04日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
05日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
07日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
08日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
09日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
13日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
14日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
15日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
16日	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="Y"/>	<input type="text" value="Y"/>	<input type="text"/>													
17日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
18日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
19日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
20日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
21日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
22日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
23日	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

18. リアルタイム口座帳票要否呼出し (URK11)

システム管理者等は、オンライン・リアルタイム口座を用いた関税等の振替完了通知情報の出力要否設定状況を呼び出して確認し、変更することができます。

現状で、配信要と設定されている振替完了通知情報には「Y」が表示されています。システム管理者等以外の方が本業務を行う場合は、システム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

呼び出しは、「処理種別」欄に「Y」を入力、「申告者コード」欄には、入力者の利用者コードを入力します。(入力を省略した場合は、入力者の利用者コードの情報を呼び出します)

《入力例》

処理種別*	<input type="text" value="Y"/>
申告者コード	<input type="text" value="1AACC"/>

本呼び出し(照会)により、入力者に対し「リアルタイム口座帳票要否呼出し結果情報(出力情報コード:CAL0950)」が配信されます。

【新規登録時の場合】

処理種別	<input type="text" value="T"/>
申告者コード	<input type="text" value="1AACC"/>
帳票出力要否 (変更前)	<input type="checkbox"/>
帳票出力要否 (変更後)	<input checked="" type="checkbox"/>

現在の設定状況が出力されます。
※新規登録の場合は、スペース(出力不要)が設定されています。

【配信要と登録されている場合】

処理種別	<input type="text" value="T"/>
申告者コード	<input type="text" value="1AACC"/>
帳票出力要否 (変更前)	<input type="text" value="Y"/>
帳票出力要否 (変更後)	<input checked="" type="checkbox"/>

新規登録で配信要と設定後に再度呼び出しを行うと、出力要「Y」が表示されます。

(2) 登録方法 (新規に帳票出力を必要とする場合)

① (1) 呼び出し (照会) より、現在の設定状況を表示させます。

処理種別

申告者コード

帳票出力要否 (変更前)

帳票出力要否 (変更後)

現在の設定状況が出力されます。
新規の場合、スペース(出力不要)が
設定されています。

② タブでY (出力要) を選択します。

処理種別

申告者コード

帳票出力要否 (変更前)

帳票出力要否 (変更後)

出力要「Y」を選択します。

① Y (出力要) を選択し、送信することで、設定が反映することができます。

URK リアルタイム口座帳票要否登録

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(Q) オプション(O)

データ登録(A) 送信(S)

システム識別
航空

入力情報特定番号

添付ファイル

入力項目ガイド
申告者に対する「オンライン・リアルタイム口座振替完了通知情報」の本業務実施後の出力要否を入力
Y : 出力する
スペース: 出力しない

業務メッセージ

コード	内容	処置	項目ID
COMPLETE			

処理種別

申告者コード

帳票出力要否 (変更前)

帳票出力要否 (変更後)

(3) 変更方法 (帳票が不要となった場合)

① (1) 呼び出し (照会) より、現在の設定状況を表示させます。

処理種別	T
申告者コード	1AACC
帳票出力要否 (変更前)	Y
帳票出力要否 (変更後)	<input type="button" value="▼"/>

現在の設定状況が出力されます。(Yが表示されているので、帳票出力要に設定されています。)

② タブでスペースを選択します。

処理種別	T
申告者コード	1AACC
帳票出力要否 (変更前)	Y
帳票出力要否 (変更後)	<input type="button" value="▼"/>

出力不要「スペース」を選択します。

Y: 出力する

③ スペース (出力不要) を選択し、送信することで、設定が反映することができます。

URK リアルタイム口座帳票要否登録

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(Q) オプション(O)

データ登録(A) 送信(S)

システム識別
航空

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名	サイズ
-------	-----

入力項目ガイド

申告者に対する「オンライン・リアルタイム口座振替完了通知情報」の本業務実施後の出力要否を入力
Y : 出力する
スペース: 出力しない

処理種別	T
申告者コード	1AACC
帳票出力要否 (変更前)	Y
帳票出力要否 (変更後)	<input type="button" value="▼"/>

業務メッセージ

コード	内容	処置	項目ID
COMPLETEK			

(4) 出力情報

本登録を行うことで、オンライン・リアルタイム口座による納付が行われ、NACCSで収納済みとなった場合に入力者あてに「リアルタイム口座振替完了通知情報（出力情報コード：CAF6151）」が配信されます。

19-1. 港別船会社登録（UMF）

入出港関連やリスト通関等の業務を実施する際に、第三者業務（船舶代理店業務等）による船会社向けの出力情報について、代表利用者コード（システム参加の船会社コードの利用者コード）以外で、港別に当該出力情報を出力する利用者を指定したい場合、または、港単位に利用可能な船会社の利用者コードを登録する場合で、システム管理者等は、1船会社コードに対して、港単位に利用可能な船会社の利用者コード（5桁）を登録、変更又は削除（以下「登録等」という。）を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「港別船会社登録（UMF）」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「港別船会社登録呼出し（UMF 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出してから変更・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

[1] 船会社コード（「船会社コード」欄）

船会社コードを入力します。

[2] 港コード（「港コード」欄）

代表利用者コード以外の船会社を登録する場合の港コード（国連LOCODE）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

[3] 利用者コード（変更後）（「利用者コード」欄）

代表利用者コード以外の船会社の利用者コード（5桁）を入力します。

[4] 更新識別（「更新識別」欄）

スペース（空欄：削除しない）を選択します。

（2）変更方法

「港別船会社登録呼出し（UMF 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、上記（1）登録方法に準じて変更後の内容を入力します。

（3）削除方法

「港別船会社登録呼出し（UMF 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、削除要否を入力します。

[4] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除する」を入力又は選択します。

（4）出力情報

本登録等により、入力者に対し「港別船会社情報（出力情報コード：SAL0990）」が配信されます。

《入力例》 ※港別船会社登録呼出し（UMF 1 1）業務を行った後、本業務を行う入力例（現在定中の「1CNAC」から「1DNAC」に変更する場合の例）

船会社コード* ABCD
港コード* JPTYO

変更前の設定状況

利用者コード 1CNAC

変更する内容

利用者コード 1DNAC
更新種別

現在の設定状況が出力されます。

19-2. 港別船会社登録呼出し (UMF 11)

システム管理者等は、船会社コードに対して、港単位に利用可能な船会社の利用者コード (5桁) を呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「港別船会社登録 (UMF)」業務により変更又は削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

呼び出しは、「港別船会社登録呼出し (UMF 11)」業務を利用して、次の事項を入力して送信することにより行います。

[1] 船会社コード (「船会社コード」欄)

呼び出したい船会社コードを入力します。

[2] 港コード (「港コード」欄)

呼び出したい港コード (国連LOCODE) を入力します。

《入力例》

船会社コード*	<input type="text" value="ABCD"/>
港コード*	<input type="text" value="JPTYO"/>

(2) 出力情報

本呼び出し (照会) により、入力者に対し「港別船会社呼出情報 (出力情報コード: S AL1000)」が配信されます。

20-1. 搬出入業務代行者登録 (UHN)

保税蔵置場自らが搬出入業務 (B I A 業務等) を行うことが原則ですが、業務実態等何らかの理由により、当該保税蔵置場に代わり、通関業者又は海貨業者に当該搬出入業務を行わせる場合に、システム管理者等は、保税地域コード単位に搬出入業務を代行させる利用者 (通関業者又は海貨業者に限る。) の利用者コードの登録、変更又は削除 (以下「登録等」という。) を行う場合に本業務を実施します。

登録等は、「搬出入業務代行者登録 (UHN)」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「搬出入業務代行者登録呼出し (UHN 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 保税地域コード (「保税地域コード」欄)

保税地域コードを入力します。

— 「変更する内容」の枠内—

[2] 搬出入業務代行者 (変更後) (「搬出入業務代行者」欄)

上記 [1] で入力した保税地域において、搬出入業務を代行者させる利用者 (通関業者又は海貨業者) の利用者コード (5桁) を入力します。

[3] 更新種別 (「更新種別」欄)

「I : 追加」を入力又は選択します。

(2) 変更方法

「搬出入業務代行者登録呼出し (UHN 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記 (1) 登録方法及び下記 (3) 削除方法を併用して変更前の内容 (削除する内容) と変更後の内容 (追加する内容) を入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容 (搬出入業務の代行を取り消す利用者の利用者コードを入力し、更新種別は「D : 削除」を選択) と変更後の内容 (搬出入業務の代行を行わせる利用者の利用者コードを入力し、更新種別は「I : 追加」を選択) を入力します。

(3) 削除方法

「搬出入業務代行者登録呼出し (UHN 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により 削除する 内容を入力します。

[2] 搬出入業務代行者 (変更後) (「搬出入業務代行者」欄)

更新前の設定状況欄にある利用者コードのうち、搬出入業務の代行を取り消す利用者コード (5桁) を入力します。

[3] 更新種別 (「更新種別」欄)

「D : 削除」を入力します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「搬出入業務代行者情報（出力情報コード：SAL0970）」が配信されます。

(5) 留意事項

搬出入業務代行者として登録されている利用者が実施可能なオンライン業務は以下のとおりです。

業務コード	業務名	備考
B I C	搬入確認登録（輸出未通関）	輸出
B I D	搬入確認登録（輸出許可済）	
B O C	搬出確認登録（輸出許可済）	
V A E	バンニング情報登録（輸出管理番号単位）	
V A N	バンニング情報登録（コンテナ番号単位）	
V A H	バンニング・CY搬入情報登録	
B I A	搬入確認登録（保税運送貨物）	輸入
B I B	システム外搬入確認（輸入貨物）	
B O A	搬出確認登録（保税運送貨物）	
B O B	搬出確認登録（貨物引取り）	

《入力例》 ※搬出入業務代行者登録呼出し（UHN11）業務を行った後、本業務を行う入力例（現在設定中の「1ENAC」から「1FNAC」に変更する場合の例）

保税地域コード*

変更前の設定状況

01	<input type="text" value="1ENAC"/>	02	<input type="text" value="1ENAC"/>	03	<input type="text"/>	04	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>

変更する内容

01	<input type="text" value="1ENAC"/> <input type="text" value="D"/>	02	<input type="text" value="1FNAC"/> <input type="text" value="I"/>	03	<input type="text"/>	04	<input type="text"/>	05	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>

現在の設定状況が出力されます。

搬出入業務代行者を、現在の、「1ENAC」から「1FNAC」へ変更するため、搬出入業務代行者欄01に「1ENAC」を入力し、更新種別は「D:削除」を選択、搬出入業務代行者欄02に「1FNAC」を入力し、更新種別は「I:追加」を選択します。

20-2. 搬出入業務代行者登録呼出し (UHN11)

システム管理者等は、保税地域コードに対して、保税地域単位に搬出入業務の代行可能な利用者コード (5桁) を呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「搬出入代行者登録 (UHN)」業務により変更又は削除を行うことができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

呼び出しは、「搬出入代行者登録呼出し (UHN11)」業務を利用し、保税地域コード (「保税地域コード」欄) に呼び出したい保税地域コードを入力して送信することにより行います。

《入力例》



保税地域コード* 1AD01

(2) 出力情報

本呼び出し (照会) により、入力者に対し「搬出入代行者呼出情報 (出力情報コード: S AL0980)」が配信されます。

(3) 留意事項

搬出入業務代行者として登録されている利用者が実施可能なオンライン業務は、20-1 (5) を参照してください。

2 1 - 1 . 船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録 (U F B)

ブッキング関連業務において、「ブッキング情報登録 (B K R)」業務の先行登録を必須とした場合、システム管理者等は、本業務を実施し、船会社コードに対して積出港 (5桁) の登録を行います。

登録等は、「船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録 (U F B)」業務を利用し、それぞれ次の事項を入力して送信することにより行います。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「船会社別ブッキング情報先行登録用積出港登録呼出し (U F B 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出してから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 船会社コード (「船会社コード」欄)

船会社コードを入力します。

[2] 更新種別 (「更新種別」欄)

「I : 追加」を入力又は選択します。

[3] 積出港コード (「積出港コード」欄)

「ブッキング情報登録 (B K R)」業務の先行登録を必須とする船会社コードに対する、積出港コード (国連LOCODE) を入力します。

(2) 変更方法

「船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録呼出し (U F B 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、上記(1)登録方法に準じて**変更後**の内容を入力します。

(3) 削除方法

「船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録呼出し (U F B 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出し、削除要否を入力します。

[1] 更新種別 (「更新種別」欄)

「D : 削除」を入力又は選択します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し「船会社別ブッキング情報先行登録用積出港情報 (出力情報コード : SAL1030)」が配信されます。

《入力例》 ※船会社コードABCDで「JPTYO」を登録する場合の入力例)

船会社コード*

更新種別	積出港コード	更新種別	積出港コード	更新種別
1 <input type="text" value="I"/>	<input type="text" value="JPTYO"/>	2 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	3 <input type="text" value=""/>
5 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	6 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	7 <input type="text" value=""/>
9 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	10 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	11 <input type="text" value=""/>
13 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	14 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	15 <input type="text" value=""/>
17 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	18 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	19 <input type="text" value=""/>
21 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	22 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	23 <input type="text" value=""/>
25 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	26 <input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	27 <input type="text" value=""/>



船会社コード

積出港コード (変更前)

1	<input type="text" value=""/>	2	<input type="text" value=""/>	3	<input type="text" value=""/>	4	<input type="text" value=""/>
6	<input type="text" value=""/>	7	<input type="text" value=""/>	8	<input type="text" value=""/>	9	<input type="text" value=""/>
11	<input type="text" value=""/>	12	<input type="text" value=""/>	13	<input type="text" value=""/>	14	<input type="text" value=""/>
16	<input type="text" value=""/>	17	<input type="text" value=""/>	18	<input type="text" value=""/>	19	<input type="text" value=""/>
21	<input type="text" value=""/>	22	<input type="text" value=""/>	23	<input type="text" value=""/>	24	<input type="text" value=""/>
26	<input type="text" value=""/>	27	<input type="text" value=""/>	28	<input type="text" value=""/>	29	<input type="text" value=""/>
31	<input type="text" value=""/>	32	<input type="text" value=""/>	33	<input type="text" value=""/>	34	<input type="text" value=""/>
36	<input type="text" value=""/>	37	<input type="text" value=""/>	38	<input type="text" value=""/>	39	<input type="text" value=""/>
41	<input type="text" value=""/>	42	<input type="text" value=""/>	43	<input type="text" value=""/>	44	<input type="text" value=""/>
46	<input type="text" value=""/>	47	<input type="text" value=""/>	48	<input type="text" value=""/>	49	<input type="text" value=""/>
51	<input type="text" value=""/>	52	<input type="text" value=""/>	53	<input type="text" value=""/>	54	<input type="text" value=""/>
56	<input type="text" value=""/>	57	<input type="text" value=""/>				
61	<input type="text" value=""/>	62	<input type="text" value=""/>				
66	<input type="text" value=""/>	67	<input type="text" value=""/>				
71	<input type="text" value=""/>	72	<input type="text" value=""/>	73	<input type="text" value=""/>	74	<input type="text" value=""/>
76	<input type="text" value=""/>	77	<input type="text" value=""/>			79	<input type="text" value=""/>

積出港コード (変更後)

1	<input type="text" value="JPTYO"/>	2	<input type="text" value=""/>	3	<input type="text" value=""/>	4	<input type="text" value=""/>
6	<input type="text" value=""/>	7	<input type="text" value=""/>	8	<input type="text" value=""/>	9	<input type="text" value=""/>
11	<input type="text" value=""/>	12	<input type="text" value=""/>	13	<input type="text" value=""/>	14	<input type="text" value=""/>
16	<input type="text" value=""/>	17	<input type="text" value=""/>	18	<input type="text" value=""/>	19	<input type="text" value=""/>

変更後の設定状況が出力されます

2 1 - 2 . 船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録呼出し (U F B 1 1)

システム管理者等は、「ブッキング情報登録 (B K R)」業務の先行登録を必須とする船会社コード (4桁) を呼び出します。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出された情報は、「船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録 (U F B)」業務により変更又は削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

呼び出しは、「船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録呼出し (U F B 1 1)」業務を利用して、次の事項を入力して送信することにより行います。

[1] 船会社コード (「船会社コード」欄)

呼び出したい船会社コードを入力します。

(2) 出力情報

本呼び出し (照会) により、入力者に対し「船会社別ブッキング情報先行登録用積出港呼出情報 (出力情報コード : SAL1040)」が配信されます。

≪入力例≫ ※船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録呼出し (U F B 1 1) 業務を行った後、船会社別ブッキング情報先行登録積出港登録 (U F B) を行う入力例 (現在設定中の「J P T Y O」から「J P N G O」に変更する場合の例)

船会社コード*

ABCD



船会社コード*

更新種別	積出港コード	更新種別	積出港コード	更新種別	積出港コード
1	JPTYO	2		3	
5		6		7	
9		10		11	
13		14		15	
17		18		19	
21		22		23	
25		26		27	

現在の設定状況が出力されます



船会社コード*

更新種別	積出港コード	更新種別	積出港コード	更新種別	積出港コード
1	JPTYO	2	JPNGO	3	
5		6		7	
9		10		11	
13		14		15	
17		18		19	
21		22		23	
25		26		27	

変更後の内容を入力します



変更前の設定状況が出力されます

	<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	3	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/>
11	<input type="checkbox"/>	12	<input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/>
16	<input type="checkbox"/>	17	<input type="checkbox"/>	18	<input type="checkbox"/>
21	<input type="checkbox"/>	22	<input type="checkbox"/>	23	<input type="checkbox"/>
26	<input type="checkbox"/>	27	<input type="checkbox"/>	28	<input type="checkbox"/>
31	<input type="checkbox"/>	32	<input type="checkbox"/>	33	<input type="checkbox"/>
36	<input type="checkbox"/>	37	<input type="checkbox"/>	38	<input type="checkbox"/>
41	<input type="checkbox"/>	42	<input type="checkbox"/>	43	<input type="checkbox"/>
46	<input type="checkbox"/>	47	<input type="checkbox"/>	48	<input type="checkbox"/>
51	<input type="checkbox"/>	52	<input type="checkbox"/>	53	<input type="checkbox"/>
56	<input type="checkbox"/>	57	<input type="checkbox"/>	58	<input type="checkbox"/>
61	<input type="checkbox"/>	62	<input type="checkbox"/>	63	<input type="checkbox"/>
66	<input type="checkbox"/>	67	<input type="checkbox"/>	68	<input type="checkbox"/>
71	<input type="checkbox"/>	72	<input type="checkbox"/>	73	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	77	<input type="checkbox"/>	78	<input type="checkbox"/>

変更後の設定状況が出力されます

1	<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	3	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/>
11	<input type="checkbox"/>	12	<input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/>

2 2 - 1 . 申告可能者登録 (UKY) 業務

輸出入申告の申告予定者以外は、輸出入申告業務、事項登録業務、呼出し業務、通関士審査業務および申告添付業務は実施できませんが、本業務を実施することにより委託関係にある通関業者（同一企業の利用者コード）を登録することができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「申告可能者登録呼出し (UKY 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出ししてから変更・削除の作業を行ってください。

(1) 登録方法

[1] 利用者コード（「利用者コード」欄）

当初申告者の利用者コード（5桁）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

[2] 申告可能者（変更後）（「申告可能者」欄）

申告業務を委託する通関業者の利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

(2) 変更方法

「申告可能者登録呼出し (UKY 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法及び下記(3)削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（申告業務の委託を取り消す通関業者の利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに申告業務の訂正を委託する同一企業内通関業者の利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

(3) 削除方法

「申告可能者登録呼出し (UKY 1 1)」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により削除する内容を入力します。

[2] 申告可能者（変更後）（「申告可能者」欄）

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、申告業務の委託を取り消す利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力または選択します。

(4) 出力情報

本登録により、入力者に対し「申告可能者情報（出力情報コード：CAL1460）」が配信されます。

(5) 参考事項

申告可能者として登録されている利用者が実施可能なオンライン業務は以下のとおりです。

業務コード	業務名
EDA	輸出申告事項登録
EDB	輸出申告事項呼出し
EDC	輸出申告
IEX (IEXOW)	輸出申告等照会
UEA	別送品輸出申告事項登録
UEB	別送品輸出申告事項呼出し
UEC	別送品輸出申告
I EU	別送品輸出申告照会
IMO	輸出自動車情報照会
MEC	輸出マニフェスト通関申告
MED	輸出マニフェスト通関申告呼出し
IDA	輸入申告事項登録
SWA	シングルウィンドウ輸入申告事項登録
IDB	輸入申告事項呼出し
SWB	シングルウィンドウ輸入申告事項呼出し
SWX	シングルウィンドウ申告・申請呼出し
IDC	輸入申告
SWC	シングルウィンドウ輸入申告
MWA	石油製品等移出（総保出）輸入申告事項登録
MWB	石油製品等移出（総保出）輸入申告事項呼出し
MWC	石油製品等移出（総保出）輸入申告
I ID (I IDOW)	輸入申告等照会
I XX	関連省庁申告・申請状況照会
MIC	輸入マニフェスト通関申告
MID	輸入マニフェスト通関申告呼出し
CTA	機用品蔵入承認申請事項登録
CTB	機用品蔵入承認申請事項呼出し
CTC	機用品蔵入承認申請
I CT	機用品蔵入等承認申請照会
ICG (ICGOW)	貨物情報照会
I IV	インボイス・パッキングリスト情報照会
MSX	申告添付登録
MSY	申告添付訂正呼出し
MSY01	申告添付訂正
IMS	申告添付一覧照会
CCB	通関士審査内容呼出し
CCA	通関士審査結果登録
I HF	本船・ふ中扱い承認申請照会
ATI	検査立会者登録
IGS (IGSOW)	輸出貨物情報照会

2 2 - 2 . 申告可能者登録呼出し (UKY 1 1) 業務

輸出入申告の申告予定者以外は、輸出入申告業務、事項登録業務、呼出し業務、通関士審査業務および申告添付業務は実施できませんが、本業務を実施することにより委託関係にある通関業者（同一企業の利用者コード）情報を呼び出します。

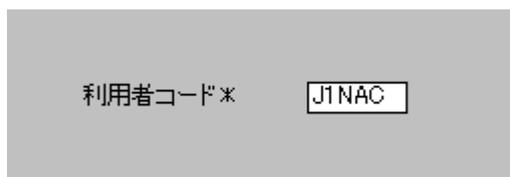
呼び出された情報は、「申告可能者登録 (UKY)」業務により変更または削除をすることができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

(1) 呼び出し (照会) 方法

呼び出しは、「申告可能者登録呼出し (UKY 1 1)」業務を利用して、利用者コード（「利用者コード」欄）に呼び出したい利用者コード（5桁）を入力して送信することにより行います。

《入力例》



The image shows a screenshot of a web application interface. On the left, there is a label '利用者コード*' (User Code*). To its right is a text input field containing the value 'JINAC'. The entire input area is set against a light gray background.

(2) 出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「申告可能者呼出情報（出力情報コード：CAL 1470）」が配信されます。

2 2 - 3. 申告可能者登録呼出し（強制入力）（UKY 1 2）業務

輸出入申告の申告予定者以外は、輸出入申告業務、事項登録業務、呼出し業務、通関士審査業務および申告添付業務は実施できませんが、本業務を実施することにより委託関係にある通関業者（他企業の利用者コード）を登録することができます。

一般の利用者が本業務を行う場合は、予めシステム管理者等の指示の下、本業務を実施してください。

変更・削除を行う場合には、必ず「申告可能者登録呼出し（UKY 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出してから変更・削除の作業を行ってください。

（1）登録方法

〔1〕利用者コード（「利用者コード」欄）

当初申告者の利用者コード（5桁）を入力します。

—「変更する内容」の枠内—

〔2〕申告可能者（変更後）（「申告可能者」欄）

申告業務の訂正を委託する通関業者の利用者コード（5桁）を入力します。

〔3〕更新種別（「更新種別」欄）

「I：追加」を入力または選択します。

この状態で送信すると以下のような警告画面が出力され、登録が一旦保留されます。

The screenshot shows the 'UKY12 申告可能者登録 (強制入力)' window. The '処理種別*' dropdown is highlighted with a red circle and a callout box stating '新しく「処理種別*」欄が表示されます。' (The '処理種別*' field is newly displayed). Below the main grid, a warning message is shown in a pink box, which is also expanded in a callout box at the bottom. The warning message reads: '入力された利用者コードの下3桁と入力された照会資格者の下3桁が一致しない。' (The last 3 digits of the entered user code do not match the last 3 digits of the entered inquiry qualification). The expanded warning message adds: '入力した照会資格者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「I」を入力する。' (Check the entered inquiry qualification and, if there are no errors, enter 'I' in the processing type).

コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力された利用者コードの下3桁と入力された照会資格者の下3桁が一致しない。	入力した照会資格者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「I」を入力する。

コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力された利用者コードの下3桁と入力された照会資格者の下3桁が一致しない。	入力した照会資格者を確認の上、誤りがない場合は処理種別に「I」を入力する。

「利用者コード*」欄下に「処理種別*」欄が新しく表示されていますので「F」を入力し、送信します。※「F」を入力しない場合には、エラーとなります。

利用者コード*	IGNAC
処理種別*	F

「COMPLETION」となり、登録完了です。

The screenshot shows the 'UKY12 申告可能者登録 (強制入力)' window. The 'システム識別' section shows '航空' selected. The '入力情報特定番号' field is empty. The '添付ファイル' table is empty. The '入力項目ガイド' section is empty. The '業務メッセージ' table shows a message with code 'COMPLET' and content 'COMPLET'. The '業務固有情報' section shows 'IGNAC'. The '変更前の設定状況' table shows a grid of checkboxes for codes 01-40, with 01 checked. The '変更後の設定状況' table shows a grid of checkboxes for codes 01-40, with 01 checked and containing the value '1T999'. The status bar at the bottom shows 'IGNAC00B' and a '再送防止' icon.

(2) 変更方法

「申告可能者登録呼出し（UKY11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、上記(1)登録方法及び下記(3)削除方法を併用して入力します。

具体的には、変更する内容の枠内に、変更前の内容（申告業務の委託の権限を取り消す利用者コードを入力し、更新種別は「D：削除」を選択）と変更後の内容（新たに申告業務の委託の権限を持たせる利用者コードを入力し、更新種別は「I：追加」を選択）を入力します。

この状態で送信すると(1)のような警告が出力されますので「処理種別*」欄に「F」を入力し送信します。

(3) 削除方法

「申告可能者登録呼出し（UKY11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により削除する内容を入力します。

[2] 申告可能者（変更後）（「申告可能者」欄）

変更前の設定状況欄にある利用者コードのうち、申告業務の委託の権限を取り消

す利用者コード（5桁）を入力します。

[3] 更新種別（「更新種別」欄）

「D：削除」を入力又は選択します。

この状態で送信すると（1）のような警告が出力されますので「処理種別＊」欄に「F」を入力し送信します。

（4）出力情報

本登録により、入力者に対し「申告可能者強制入力情報（出力情報コード：CAL1480）」が配信されます。

（5）留意事項

本業務は登録情報の申告を委託する者（当初の申告予定者：親）が申告を受託する者（実際に申告を行うもの：子）を登録するものです。

親の了解なしに子が当該業務で親を登録することもできますが、この場合は「子の情報を親が申告者として申告できるようになる」ものであり、子から親の情報を申告できるようにはなりません。

23-1. 積荷目録情報登録省略機能不要設定登録（UAF）業務

システム管理者等は、船会社コード等の単位に、「積荷目録提出（DMF）」業務における出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録機能の不要設定の登録を行う場合に本業務を実施します。

なお、設定可能単位のパターンは、以下の3パターンのうちいずれか1つのみです。

- ①船会社単位（船会社コード）（※船舶代理店の場合は船会社単位の設定不可）
- ②船卸港単位（船会社コード+船卸港コード）
- ③船舶単位（船会社コード+船卸港コード+船舶コード）

（1）登録方法

以下により登録する内容を入力します。

[1] 処理区分（「処理区分」欄）

「9：登録」を入力します。

[2] 船会社コード（「船会社コード」欄）

船会社コード（4桁）を入力します。

[3] 船卸港コード（「船卸港コード」欄）

船会社単位で登録する場合は入力不要です。

船卸港単位又は船舶単位で登録する場合は、登録する港の国連LOCODE（5桁）を入力します。船舶代理店の場合は必須入力となります。

[4] 船舶コード（「船舶コード」欄）

船会社単位又は船卸港単位で登録する場合は入力不要です。

船舶単位の登録する場合は、登録する船舶のコールサインを入力します。

（2）変更方法

登録した内容を変更する場合には、下記（3）削除方法にて登録内容を削除したのち、改めて上記（1）登録方法により必要な登録を行います。

（3）削除方法

以下により削除する内容を入力します。

[1] 処理区分（「処理区分」欄）

「1：削除」を入力します。

[2] 船会社コード（「船会社コード」欄）

船会社コード（4桁）を入力します。

[3] 船卸港コード（「船卸港コード」欄）

船会社単位の登録を削除する場合は入力不要です。

船卸港単位又は船舶単位の登録を削除する場合は、削除する港の国連 LOCODE（5桁）を入力します。船舶代理店の場合は必須入力となります。

[4] 船舶コード（「船舶コード」欄）

船会社単位又は船卸港単位の登録を削除する場合は入力不要です。

船舶単位の登録を削除する場合は、削除する船舶のコールサインを入力します。

2 4 - 1 . 輸 入 C F S 引 取 予 定 情 報 受 付 時 間 登 録 (U C T) 業 務

バラ貨物を扱うCFS保税蔵置場利用者等が、利用者からの「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務を利用した引取依頼を受け付ける場合には、あらかじめ「輸入CFS引取予定情報受付時間登録(UCT)」業務を利用して搬出依頼受付終了時刻等を登録しておく必要があります。

(1) 登録方法

[1] 処理区分(「処理区分」欄)

「9:新規登録」を入力します。

[2] 搬出依頼受付終了時刻(「搬出依頼受付終了時刻」欄)

搬出依頼の受付を終了する時刻を入力します。

なお、本項目が入力されていない場合は、「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務は常に受付終了時刻までに実施されたとみなされます。

[3] 土曜日対応可能表示(「土曜日対応可」欄)

土曜日も平日同様に「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務を受け付ける場合は、本項目をチェック(☑)します。

[4] 日曜日・祝日対応可能表示(「日・祝日対応可」欄)

日曜日及び祝日も平日同様に「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務を受け付ける場合は、本項目をチェック(☑)します。

[5] ワーニング出力表示(「ワーニング出力」欄)

本業務で登録した受付可能時間以外に「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務が実施された場合にエラーとせず、ワーニング出力し、搬出依頼の受付を可能とする場合は、本項目をチェック(☑)します。

[6] 当日対応可能表示(「搬出依頼の当日対応可」欄)

「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務にて、業務実施日(当日)の「引取予定日時」の入力を可能とする場合には、本項目をチェック(☑)します。

[7] 記事(「記事(1)」から「記事(5)」欄)

「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務を実施する利用者が、あらかじめ「輸入CFS引取予定情報通知呼出し(RCS11)」業務を利用して貨物情報等を呼び出した場合には、当該呼び出し結果画面に本項目で入力した内容を出力します。

RCS11業務を実施する利用者に対して必要な事項を周知することが可能です。

(2) 変更方法

「輸入C F S引取予定情報受付時間登録呼出し（U C T 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、以下により訂正の旨入力し、上記（1）登録方法に準じて変更後の内容を入力します。

[1] 処理区分（「処理区分」欄）

「5：訂正」を入力します。

(3) 削除方法

「輸入C F S引取予定情報受付時間登録呼出し（U C T 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出し、削除要否を入力します。

[1] 処理区分（「処理区分」欄）

「1：削除」を入力します。

(4) 出力情報

本登録等により、入力者に対し、「輸入C F S引取予定情報受付時間情報（出力情報コード：SAL1370）」が配信されます。

(5) 留意事項

- ① 「当日対応可能表示」と「輸入C F S引取予定情報通知（R C S 0 1）」業務で入力可能な「受付予定日」の関係は以下のとおりです。

項番	当日対応可能表示	RCS01業務実施時刻	RCS01業務で入力可能な「受付予定日」
1	<input type="checkbox"/>	受付時間内	翌平日 ^(※) 以降の平日 ^(※)
2	<input type="checkbox"/>	受付時間外	翌々平日 ^(※) 以降の平日 ^(※)
3	<input checked="" type="checkbox"/>	受付時間内	当日（当日が平日 ^(※) でない場合は翌平日 ^(※) ）以降の平日 ^(※)
4	<input checked="" type="checkbox"/>	受付時間外	翌平日 ^(※) 以降の平日 ^(※)

(※) 土曜日対応可、日曜・祝日対応可としている場合は、当該日も平日とみなす。

- ② N A C C S 掲示板では、U C T 業務を登録した利用者コード一覧を掲載しています。運用準備等の理由で一覧に掲載を希望しない場合は、「記事(5)」欄の末尾に「NOCODE」（半角英字6文字）と入力してください。

24-2. 輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し（UCT11）業務

バラ貨物を扱うCFS保税蔵置場利用者等が、「輸入CFS引取予定情報受付時間登録(UCT)」業務を利用して搬出依頼受付終了時刻等を登録する場合に、あらかじめ「輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し（UCT11）」業務を利用して搬出依頼受付終了時刻等を呼び出すことができます。

なお、本業務は「輸入CFS引取予定情報通知（RCS01）」業務の利用者が、照会業務として利用することが可能です。

呼び出し（照会）は、「輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し（UCT11）」業務を利用して、次の事項を入力して送信することにより行います。

（1）呼び出し（照会）方法

[1] 申告者（「申告者」欄）

呼び出したい利用者コード（5桁）を入力します。

《入力例》

利用者コード*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出情報（出力情報コード：SAL1380）」が配信されます。

利用者コード	<input type="text" value="J1NAC"/>
処理区分*	<input type="checkbox"/> (9：新規登録 5：訂正 1：削除)
搬出依頼受付終了時刻	<input type="text" value="16:00"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 土曜日対応可 <input type="checkbox"/> 日・祝日対応可
	<input checked="" type="checkbox"/> ワーニング出力 <input type="checkbox"/> 搬出依頼の当日対応可
記事（1）	<input type="text"/>
記事（2）	<input type="text"/>
記事（3）	<input type="text"/>
記事（4）	<input type="text"/>
記事（5）	<input type="text" value="一覧に掲載を希望しない場合は、NOCODE"/>

25-1. 一括納付書等（包括延長）集約先登録（U I K）業務

通関業者は本業務にてあらかじめ登録しておくことで、同一官署に同一法人の複数利用者コード（別支店等）から包括納期限延長に係る輸入申告を行った場合、当該一括納付書を1利用者コードへ集約先して出力することができます。

なお、変更・削除を行う場合には、必ず「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（U I K 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼び出してから変更・削除の作業を行う必要があります。（直接U I K業務を起動することはできません。）

（1）登録方法

〔1〕 申告者（「申告者」欄）

集約する対象の利用者コード（5桁）を入力します。

なお、既に「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（U I K 1 1）」業務で出力された利用者コードが出力されているため、変更できません。

— 「追加する内容」の枠内—

〔2〕 申告官署（追加）（「申告官署」欄）

集約する対象の申告先税関官署コード（2桁）を入力します。

〔3〕 集約先利用者（追加）（「集約先利用者」欄）

集約先とする利用者コード（5桁）を入力します。

なお、申告者と利用者コードの末尾3桁が一致する（同一法人である）必要があります。

〔4〕 適用開始年月（追加）（「適用開始年月」欄）

集約を開始する年月を入力します。

業務実施日の翌月以降の年月のみ入力可能です。

（例）2020年3月15日に入力する場合には、「202004」以降の入力のみ可能です。

〔5〕 適用終了年月（追加）（「適用終了年月」欄）

集約を終了する年月を入力します。

適用終了年月を指定しない場合は入力不要です。

適用開始年月以降の年月のみ入力可能です。

（2）変更方法

「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（U I K 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼出し、次の項目についてのみ訂正することができます。

— 「現状の設定と変更する内容」の枠内—

[7] 適用終了年月（変更前）（「適用終了年月」欄）

集約を終了する年月を入力します。

適用終了年月を指定しない場合は入力不要です。

適用開始年月以降の年月のみ入力可能です。

なお、適用終了年月が経過した後の本項目の訂正できません。その場合は、改めて上記（1）登録の方法により集約先を登録しなおす必要があります。

（3）削除方法

「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（U I K 1 1）」業務を利用して、現在の設定内容を呼出し、次の項目を入力することにより削除することが可能です。

ただし、削除するためには、あらかじめ適用終了年月が設定されており、かつ**当該適用終了年月から4年が経過している必要があります**。（適用開始年月が到来していない場合には、すぐに削除することが可能です）

—「現状の設定と変更する内容」の枠内—

[6] 削除（「削除」欄）

（4）留意事項

- ① 集約先とする利用者コードを廃止する場合には、あらかじめ上記（2）変更方法により適用終了年月を設定することにより集約先設定を解除しておく必要があります。万が一解除しなかった場合には、集約された納付書を取り出すことができなくなります。
- ② 本設定は「申告者の利用者コード」及び「申告先税関官署」単位にのみ設定することが可能です。輸入者毎に集約の有無を設定することはできません。

25-2. 一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（UIK11）業務

通関業者が「一括納付書等（包括延長）集約先登録（UIK）」業務を実施する場合には、まず初めに「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（UIK11）」業務を使用して登録された一括納付書等（包括延長）集約先情報を呼び出す必要があります。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

呼び出し（照会）は、「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出し（UIK11）」業務を利用して、次の事項を入力して送信することにより行います。

（1）呼び出し（照会）方法

[1] 申告者（「申告者」欄）

呼び出したい利用者コード（5桁）を入力します。

《入力例》



申告者* J1NAC

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「一括納付書等（包括延長）集約先登録呼出情報（出力情報コード：CAL1500）」が配信されます。



申告者 J1NAC

追加する内容

申告官署	集約先利用者	適用開始年月	適用終了年月
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

1 / 50

現状の設定と変更する内容

削除	申告官署	集約先利用者	適用開始年月	適用終了年月
<input type="checkbox"/>	1A	1ANAC	2020/04	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2A	2ANAC	2020/04	<input type="text"/>

26-1. 一括納付書等（特例即納）配信日登録（UTK）業務

通関業者は本業務にて特例申告に係る一括納付書等（特例即納）の月毎の配信日を8日か21日のいずれかをあらかじめ登録することができます。

なお、登録を行う場合には、必ず「一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）」業務を利用して、現在の設定内容呼び出してから登録を行う必要があります。（直接UTK業務を起動することはできません。）

（1）登録・変更方法

〔1〕申告者（「申告者」欄）

登録対象の利用者コード（5桁）を入力します。

なお、既に「一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）」業務で出力された利用者コードが出力されているため、変更できません。

〔2〕対象年（「対象年」欄）

対象年を西暦4桁で入力します。

なお、既に「一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）」業務で出力された対象年が出力されているため、変更できません。

〔3〕1月引取許可の2月配信日（変更前）（「1月引取許可の2月配信日（変更前）」欄）

変更前の配信日（「08」（8日）又は「21」（21日））を入力します。

なお、既に「一括付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）」業務で出力された変更前の配信日が出力されているため、変更できません。

〔4〕1月引取許可の2月配信日（変更後）（「1月引取許可の2月配信日（変更前）」欄）

出力された配信日（変更前）について変更が必要である場合は、変更後の配信日（「08」（8日）又は「21」（21日））を入力します。

変更しない月については入力不要です。

申告者	1JNAC	対象年	2020	変更前の設定状況が出力されます	
				変更前	変更後
1月引取許可の	2月配信日		08		
2月引取許可の	3月配信日		08		
3月引取許可の	4月配信日		08		
				変更後の設定を入力します。	

(2) 留意事項

- ① 変更対象の輸入引取許可月が翌月以降である必要があります。したがって、翌々月以降の管理資料のみ設定変更が可能であり、翌月配信の設定変更は不可となります。
- ② 一括納付書等（特例即納）の配信日を21日のままとする場合には、本業務にて配信日を設定（変更）する必要はありません。
- ③ 一括納付書等（特例即納）の配信日を8日（21日）に設定した場合であっても、配信日に設定していない21日（8日）にも「一括納付書（特例即納）」のデータが無い旨を示す管理資料が配信されます。

26-2. 一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）業務

通関業者が「一括納付書等（特例即納）配信日登録（UTK）」業務を実施する場合には、まず初めに「一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出し（UTK11）」業務を使用して登録されている情報を、次の事項を入力して呼び出す必要があります。

なお、本業務は照会業務として利用することが可能です。

（1）呼び出し（照会）方法

[1] 申告者（「申告者」欄）

呼び出したい利用者コード（5桁）を入力します。

[2] 対象年（「対象年」欄）

呼び出したい対象年を西暦4桁で入力します。

《入力例》

申告者*

対象年*

（2）出力情報

本呼び出し（照会）により、入力者に対し「一括納付書等（特例即納）配信日登録呼出情報（出力情報コード：CAL1520）」が配信されます。